

暮 ら し づ く り

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実	
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	居住誘導区域内人口割合	58.9%	59.1%	59.2%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 良好な市街地形成の推進	主管部局・所属	都市交通部 都市計画課
関係部局・所属	都市交通部	都市整備課	都市交通部 区画整理課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	都市の成長が持続され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、各拠点地区の特性に応じて都市機能を集積するとともに、安全・安心な都市環境の形成により、良好な市街地の形成を図る。	現状	狭隘な道路や無秩序な開発など、安全・安心な都市環境が形成されていない。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市街地において、無秩序な宅地化が進行しており、防災・減災機能を向上させるインフラの整備が不十分	拠点地区周辺の市街地整備の取組み	高	1
	安全・安心な憩いの場が不足している	安全・安心な憩いの場となる公園づくり	中	2
	市街地において必要な生活機能の集約が図られていない	まちづくりに関する総合的な計画策定	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 市街地整備事業区域内人口(西条第二地区内の人口)	10,198 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	10,700	11,000	11,250	12,100 (R12)	人
(4)	()					()	
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度			3,110,383			
			964,694			
R8年度			2,704,189			
			836,558			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	1・1・1 八本松駅前土地区画整理事業【特会】	区画整理課	5.84	1,020,870	1,239,463
1-2	8・5・3 八本松駅前土地区画整理関連公共事業	区画整理課	3.37	384,740	326,652
1-3	8・5・3 八本松駅前地区計画事業	区画整理課	1.46	45,853	28,946
1-4	8・5・5 西条第二地区地区計画整備事業	都市整備課	2.30	201,700	226,280
2-1	8・5・4 公園整備事業	都市整備課	1.61	1,416,482	783,980
3-1	8・5・1 都市計画推進事業	都市計画課	1.98	40,738	98,868
合計			16.56	3,110,383	2,704,189

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

決算時記載

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	① 良好な市街地形成の推進

事業の概要			
戦略	1 拠点地区周辺の市街地整備の取組み	予算 1,821,341 千円	前年度 1,653,163 千円
事務事業	1-1 八本松駅前土地区画整理事業【特会】	予算 1,239,463 千円	前年度 1,020,870 千円

内容

1-1_八本松駅前土地区画整理の推進

八本松駅周辺の狭隘な幹線道路、生活道路や住環境を一体的に整備し、良好な都市環境を形成するため、土地区画整理事業による市街地整備を行う。

施行面積	10.6ha
総事業費	10,221 百万円
平均減歩率	34.63%
保留地面積	4,453.98m ²

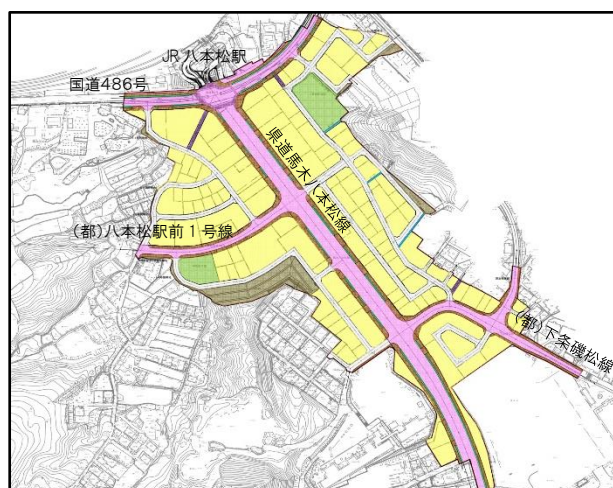
- ① 物件移転補償・調査等 (838,544 千円 (前年度 688,440 千円))
土地区画整理事業の移転計画に則り、移転が必要となる建物等の補償や調査等を行う。
- ② 造成工事 (392,500 千円 (前年度 323,880 千円))
土地区画整理事業の移転計画に則り、設計および造成工事を行う。

【活動指標】土地区画整理事業 進捗率 64% (事業費ベース)

■事業スケジュール

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
事業概要	補償						
	工事						
							換地計画・換地処分

■事業概要図



事業の概要			
戦略	1	拠点地区周辺の市街地整備の取組み	予算 1,821,341 千円 前年度 1,653,163 千円
事務事業	1-2	八本松駅前土地区画整理関連公共事業	予算 326,652 千円 前年度 384,740 千円

内容

1-2_八本松駅前土地区画整理に関連する公共施設の整備

土地区画整理事業と関連し、地区内の雨水排水施設や公園等を整備することで、良好な住環境の形成を図る。

- ① 雨水管渠整備 (151,255 千円 (前年度 322,880 千円))
土地区画整理事業に関連する雨水管渠の整備等を行う。
- ② 汚水管渠整備 (4,045 千円 (前年度 14,340 千円))
土地区画整理事業に関連する汚水管渠の整備等を行う。
- ③ 上水道整備 (148,300 千円 (前年度 33,100 千円))
土地区画整理事業に伴って実施する上水道の工事費を負担する。
- ④ 下条磯松線の事業化検討 (20,000 千円 (前年度 0 千円))
都市計画道路 下条磯松線 (区画整理区域外) の事業化を検討する。

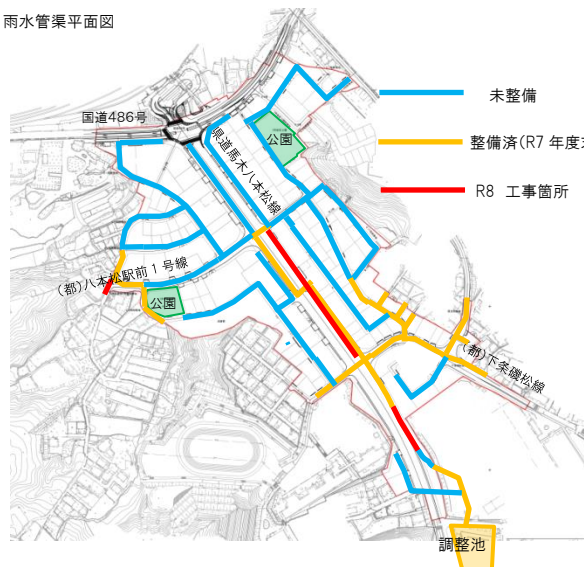
【活動指標】 雨水管渠整備率 27% (延長ベース)
汚水管渠整備率 22% (延長ベース)
上水道整備率 20% (延長ベース)

■事業スケジュール

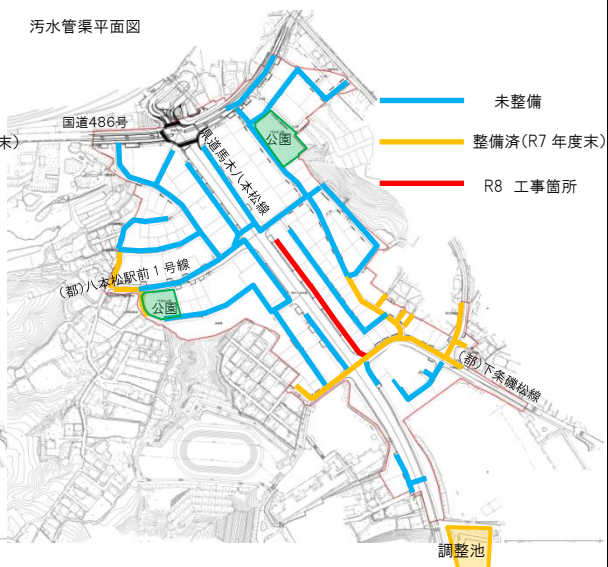
年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
事業概要	工事 (雨水管等)						
	工事 (汚水管等)						
	工事 (下水道)						

■事業概要図

雨水管渠平面図



汚水管渠平面図



事業の概要			
戦略	1	拠点地区周辺の市街地整備の取組み	予算 1,821,341 千円 前年度 1,653,163 千円
事務事業	1-3	八本松駅前地区計画事業	予算 28,946 千円 前年度 45,853 千円

内容

1-3_八本松駅周辺の公共施設の整備

土地区画整理事業区域の西側などで幹線道路等の整備を行うとともに、地区計画による民間活力を活かしたまちづくりを進めることで、隣接する土地区画整理事業と併せ、より魅力的な市街地の形成を図る。

① 八本松駅前1号線道路改良 (21,000 千円 (前年度 30,000 千円))

八本松駅前1号線の道路改良工事等を行う。

② 八本松9号線測量設計 (7,000 千円 (前年度 15,000 千円))

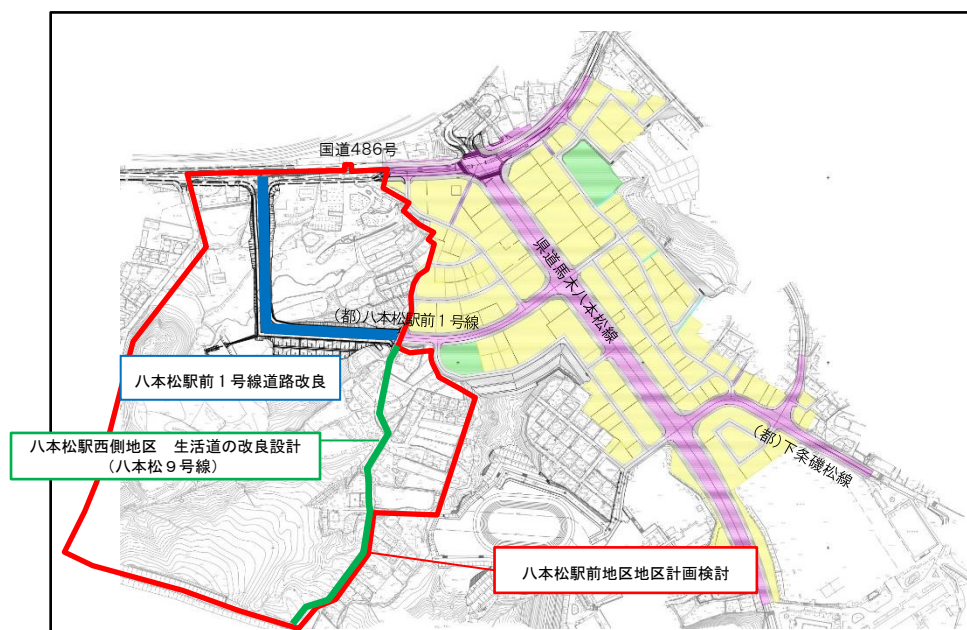
八本松駅前土地区画整理事業区域に隣接する西側地区における生活道路について、ワークショップで把握した地域の意見を集約し、測量設計を行う。

【活動指標】 八本松駅前1号線整備率 77% (事業費ベース)

■ 事業スケジュール

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降
事業概要	工事	→				
	設計	→				

■ 事業概要図



事業の概要			
戦略	1	拠点地区周辺の市街地整備の取組み	予算 1,821,341 千円 前年度 1,653,163 千円
事務事業	1-4	西条第二地区地区計画整備事業	予算 226,280 千円 前年度 201,700 千円
内容			

1-4_西条第二地区の整備

西条中心部に近接する西条第二地区において、良好な都市環境を形成するため、地区計画道路を整備する。

① 地区計画道路の整備 (225,200 千円 (前年度 200,500 千円))

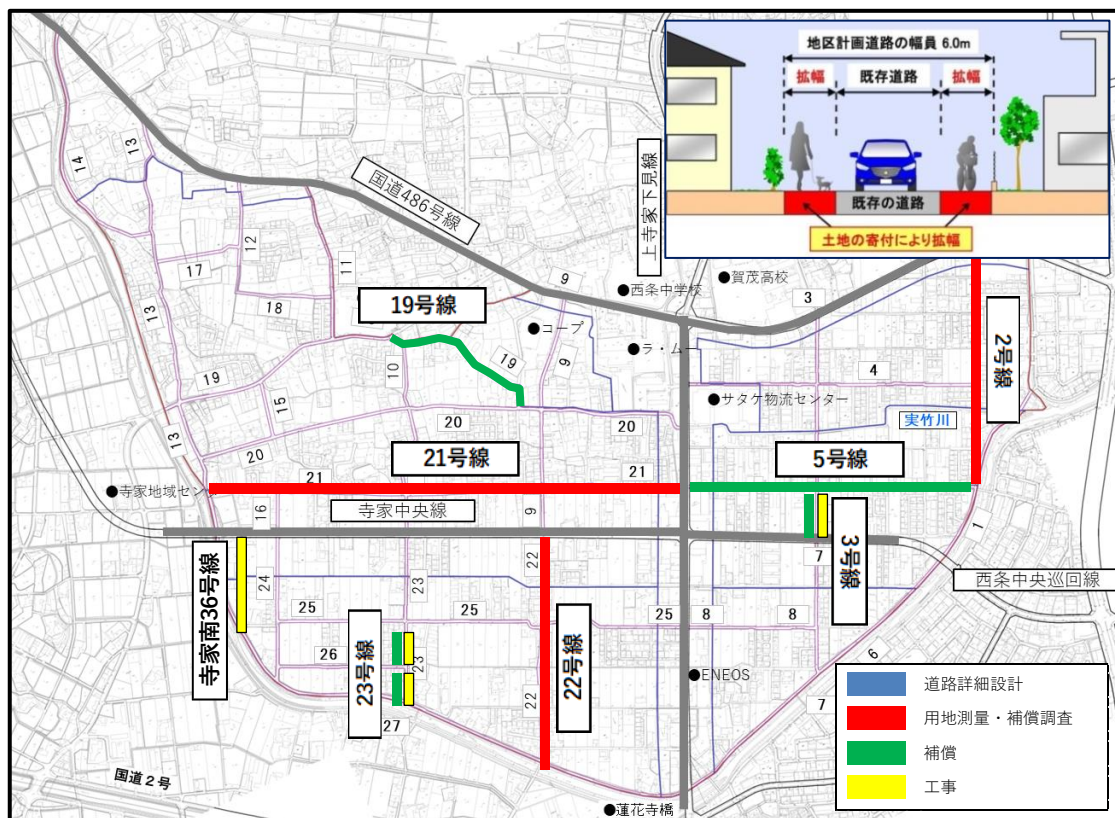
西条第二地区内の地区計画道路 27 路線を整備し、狭隘な道路の解消、安心・安全な交通網の整備と良好な居住環境の形成を図る。

【活動指標】西条第二地区地区計画整備事業進捗率 30% (事業費ベース)

■事業スケジュール

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14 以降	
西条第二地区 地区計画道路	8路線	27路線						

■事業概要図



事業の概要					
戦略	2	安全安心な憩いの場となる公園づくり	予算	783,980千円	前年度 1,416,482千円
事務事業	2-1	公園整備事業	予算	783,980千円	前年度 1,416,482千円
内容					

2-1_都市公園等の整備

安全で快適な公園づくりを行うことで良好な都市環境の形成を図る。

① 公園の整備 (275,600千円 (前年度 55,000千円))

心の潤いや安らぎを与える休養・休息の場、スポーツやレクリエーション活動により健康で健全な育成の場として、また災害時における避難場所としての効果や機能を有する公園の整備を行う。

ア 東広島運動公園の整備 (うち 257,600千円)

第2多目的グラウンドの照明施設整備等を行う。

イ 公園の整備 (うち 18,000千円)

下見学生街地区計画で位置付けられている公園の整備に向け関係者と協議を進めるとともに、正福寺山公園の整備に向けた詳細な設計等を行う。

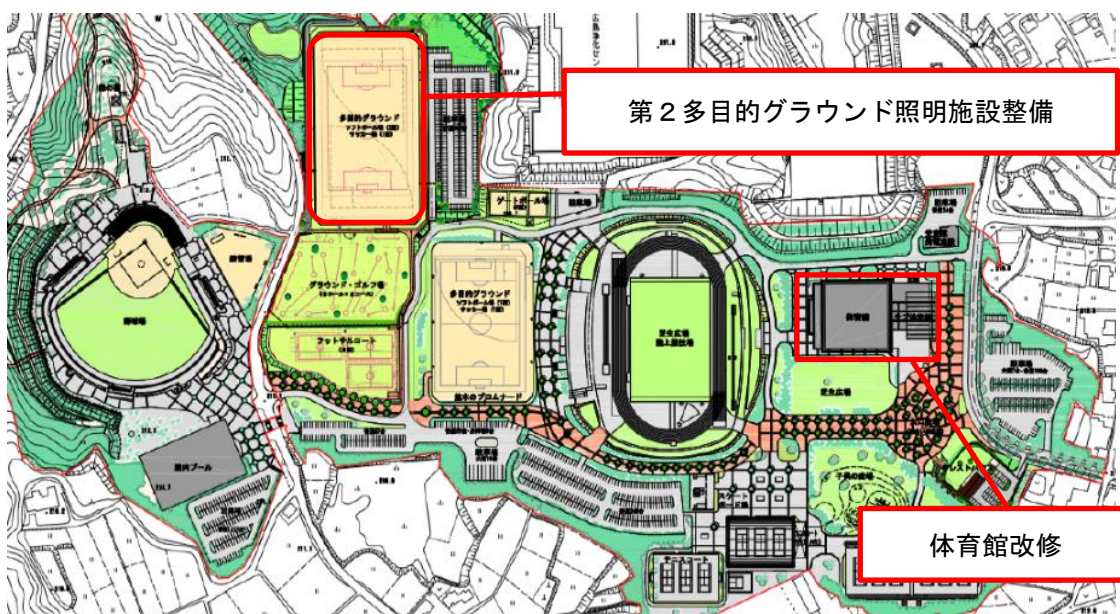
【活動指標】 東広島運動公園整備の事業進捗率 22% (事業費ベース)

■公園等の整備事業スケジュール

事業箇所		年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降
東広島運動公園整備	第2多目的夜間照明			→				
	その他施設夜間照明				→	→	→	→

■事業概要図

○東広島運動公園



○その他公園整備箇所



- ② 公園施設の改修・更新 (508,380千円 (前年度1,361,482千円))
 長寿命化修繕計画に基づき、市内都市公園の遊具等公園施設の更新を行う。
 - ア 東広島運動体育館等の改修・更新 (うち426,280千円)
 エネルギーセンター部の電気工事、仮設事務所の撤去等を行う。
 - イ 公園施設の改修・更新 (うち82,100千円)
 公園遊具の更新や御建公園野球場の改修のための設計業務等を行う。

【活動指標】

長寿命化修繕計画に基づく公園施設の改修 進捗率 31% (事業費ベース)

■事業概要図

○御建公園野球場



事業の概要					
戦略	3	まちづくりに関する 総合的な計画策定	予算	98,868 千円	前年度 40,738 千円
事務事業	3-1	都市計画推進事業	予算	98,868 千円	前年度 40,738 千円
内容					
3-1_都市計画の推進					
① 都市計画事業等の取組み (84,868 千円 (前年度 34,738 千円))					
ア 都市計画事務の推進 (うち 31,868 千円)					
健康で文化的な活力ある地域づくりのため、社会経済情勢の変化を踏まえた土地利用やまちづくり等に関する調査検討や都市計画審議会の開催など、都市計画行政の関連事務を実施する。					
イ 立地適正化計画の評価 (うち 13,000 千円)					
既存の立地適正化計画における、施策の実施状況や指標の達成状況等の中間評価を行う。					
ウ 市街化調整区域における地区計画の運用基準の見直し(うち 9,000 千円)					
民間事業者による制度の活用促進に向けて、企業立地ニーズ等に応じた見直しを検討する。					
エ 新たな都市計画道路ネットワークの検討 (うち 31,000 千円)					
次世代学園都市ゾーンのまちづくりに資する道路網の形成の一環として、新たな都市計画道路ネットワークの検討を行う。					
② 逆線引きの取組み (14,000 千円 (前年度 6,000 千円))					
市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する「逆線引き」について、第2回の逆線引き (令和7年度～令和10年度) に向けて、土地所有者との調整、対象箇所の確定、素案の作成等を行う。					
【活動指標】					
逆線引きの実施箇所数：49 箇所					
【逆線引きのスケジュール】					
令和7年度：候補地の調査、調書作成					
令和8年度：土地所有者との調整、対象箇所の確定、素案の作成					
令和9年度：関係機関協議、都市計画の手続き					
令和10年度：都市計画審議会、告示					

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実	
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	居住誘導区域内人口割合	58.9%	59.1%	59.2%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 住環境の整備・保全	主管部局・所属	建設部	住宅課
関係部局・所属	地域振興部	地域政策課		

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	安全・安心に暮らせる良好な住環境の形成	現状	空き家の増加が地域の生活環境等に悪影響を与えている。また、耐震性など住宅の安全性に不安を抱える方や、住宅を借りる事に困難を感じる住宅確保要配慮者の方が存在している。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
空き家は増加しており、安全面、衛生面、景観面など、地域の生活環境に悪影響を与えている。		住みやすい住環境の実現	高	1
住居の安全性に不安を感じている方や希望する住宅を借りる事が難しい方が存在している。		安全・安心な住宅の確保促進	中	2
市営住宅を適切に維持管理していく必要がある。		適切な市営住宅ストックの実現	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 空き家削減数(空き家成約件数+解体補助金交付件数)	45 (R5)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	60	60	60	60 (R12)	件/年
(イ)	()					()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R7年度	323,929				
		61,320				
	R8年度	251,534				
		59,317				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	8・6・1 空き家対策事業	住宅課	2.00	52,325	51,450
2-1	8・6・1 住宅指導事務	住宅課	2.00	89,278	59,073
3-1	8・6・2 市営住宅建設事業	住宅課	1.00	182,326	141,011
合計			5.00	323,929	251,534

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	② 住環境の整備・保全

事業の概要				
戦略	1 住みやすい住環境の実現	予算	51,450 千円	前年度 52,325 千円
事務事業	1-1 空き家対策事業	予算	51,450 千円	前年度 52,325 千円

内容

1-1_空き家対策の推進

空き家の増加を抑制し、管理不全の空き家を減少させるため、空き家の状態に応じ、総合的な空き家対策を推進する。

空き家数	3,947 軒	(令和3年度調査)
空き家バンク成約件数	135 件	(令和7年12月末時点)

① 空き家の利活用の推進 (26,010 千円 (前年度 25,422 千円))

ア 補助金の助成による空き家の利用活用推進 (うち 17,400 千円)

【廃】 相続登記に係る費用の助成 (補助率 1/3、上限 10 万円)

相続登記の義務化を踏まえ、令和7年度末をもって廃止する。

(7) 改修費用の助成 (見込数 15 件、補助率 1/3、上限 50 万円)

(イ) 人口減少地域における改修費用の助成 (見込数 10 件、(7)の補助額に 30 万円を限度に上乗せ)

(ウ) 空き家に残った家財道具の処分費の助成 (見込数 7 件、建物の面積に応じて補助金額 10~15 万円)

(エ) 地域の交流の場など地域活性化に寄与する空き家利活用のための取得・改修費用の助成

(見込数 2 件、国庫補助、補助率 2/3、上限 300 万円)

イ 空き家バンクの機能強化 (うち 6,446 千円)

(7) 空き家バンクへの登録支援

(イ) 成約報奨金制度による空き家の流通の活性化

【拡】 (ウ) 空き家バンクの情報発信強化

ウ その他の取組み (うち 2,164 千円)

(7) 所有者不明等の空き家対策の強化等

(イ) 空き家の利活用等に向けた情報発信



改修前



改修後



改修後

<空き家対策事業費補助金を活用した改修事例>

【活動指標】 空き家バンク登録件数：30 件、成約件数：20 件

事業の概要

② 空き家の発生抑制、適正管理、除却等の推進（25,440千円（前年度26,903千円））

補助金の助成により空き家の除却を推進する。また、空き家の発生の抑制に取り組む。

ア 老朽危険空き家の解体費用の助成（うち17,000千円）

（見込数34件、補助率1/3、上限50万円）

イ 空き家の適正管理、除却等の促進（うち5,200千円）

ウ 空き家バンク事前登録制度による空き家になる前からの対策

エ 親世代との同居や中古住宅への移住のための住宅改修等を支援（うち3,000千円）（見込数10件、補助率1/3、上限30万円）

オ 空き家啓発セミナー・定期相談会の開催等（うち240千円）



※出典：国土交通省HPより

＜老朽危険空き家事例＞

※出典：京都市HPより

【活動指標】 老朽空き家の除却件数：34件

事業の概要				
戦略	2	安全・安心な住宅の確保促進	予算 59,073 千円	前年度 89,278 千円
事務事業	2-1	住宅指導事務	予算 59,073 千円	前年度 89,278 千円
内容				
2-1_住宅の安全性などの質の向上の推進				
安全・安心で、良好な住宅の確保を図るための住宅施策を実施する。				
① 民間木造住宅の安全性の向上 (58,115 千円 (前年度 88,085 千円))				
[社会資本整備総合交付金]				
ア 耐震診断の実施 (うち 6,655 千円)				
・耐震診断 (見込数 15 件、自己負担金 1 万円)				
イ 耐震改修等に係る費用の助成 (うち 5,000 千円)				
・耐震改修 (見込数 4 件 補助率:対象工事費の 80%、上限 100 万円)				
・除却 (見込数 2 件 補助率:対象工事費の 1/3、上限 50 万円)				
ウ かけ地近接危険住宅の移転費用の助成 (うち 45,851 千円)				
・解体・除却 上限:住宅局標準建設費等通知に定められた除却工事費 (見込数 3 件)				
・移転費 上限 975 千円/件 (見込数 3 件)				
・借入金利子相当 上限 7,318 千円/件 (見込数 3 件)				
・移転促進のための助成制度 上限 2,000 千円/件 (見込数 2 件)				
エ 住宅に関する情報の発信等 (うち 609 千円)				
・耐震診断支援の周知				
・耐震改修等補助の周知				
② 居住支援の推進 (958 千円 (前年度 1,193 千円))				
ア 研修会の開催等 (うち 571 千円)				
・関係団体を対象とした研修会の実施等				
イ 居住支援に関する啓発活動の実施 (うち 222 千円)				
・居住支援ガイドブックの作成				
ウ 居住支援に関する民間不動産店との連携 (うち 165 千円)				
・協力不動産店制度の構築				

事業の概要			
戦略	3 適切な市営住宅ストックの実現	予算 141,011 千円	前年度 182,326 千円
事務事業	3-1 市営住宅建設事業	予算 141,011 千円	前年度 182,326 千円
内容			
3-1_市営住宅ストックの適切な管理			
長寿命化計画に基づき住宅改善・長寿命化工事等を実施する。			
① 市営住宅の予防保全（113,556 千円（前年度 174,905 千円））[社会資本整備総合交付金]			
ア 長寿命化改修工事			
・市営恵下山住宅 2 棟 40 戸			
			
(改修前)		(改修後)	
＜市営住宅改修事例（寺西住宅）＞			
【活動指標】 市営恵下山住宅の改修 2 棟 40 戸			
② 住環境悪化の抑制や防犯・防火等の向上（27,455 千円（前年度 7,421 千円））			
ア 老朽化した市営住宅の解体			
・市営城山住宅、磯松西住宅、土与丸住宅 8 棟 9 戸			
			
(解体前)		(解体後)	
＜老朽市営住宅事例（孤老向住宅）＞			
【活動指標】 市営住宅の除却 8 棟 9 戸			

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実	
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	生活交通の利用者数	18,242人/年	18,701人/年	19,650人/年
	市道の整備率	58.6%	58.7%	59.2%
	市街地における通学路の歩道等の整備率	80.3%	80.3%	89.2%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生活交通の維持・活性化	主管部局・所属	都市交通部 交通政策課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	持続可能な生活交通の確保	現状	人口減少等に起因する公共交通の利用者減少に伴い、生活交通の維持が困難となっている。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
学生や高齢者など交通弱者の移動手段の確保と利用者・事業者・行政など多様な関係者による連携(共創)強化が必要		生活を支える交通網の維持・活性化	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 生活交通の利用者数	18,242 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	19,650	19,650	19,650	19,650 (R12)	人/年
(4)	()					()	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度			88,946			
			56,479			
R8年度			100,411			
			76,665			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	2・1・7 生活交通維持活性化事業	交通政策課	2.00	88,946	100,411
合計			2.00	88,946	100,411

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	① 生活交通の維持・活性化

事業の概要			
戦略	1 生活を支える交通網の維持・活性化	予算 100,411 千円	前年度 88,946 千円
事務事業	1-1 生活交通維持活性化事業	予算 100,411 千円	前年度 88,946 千円

内容

1-1_生活交通の維持・活性化

① 生活交通の運行 (93,214 千円 (前年度 83,216 千円))

ア 生活交通の運行管理・支援

(7) 豊栄そよかぜ号、安芸津海風バス、河内あゆピチふれあい号の運行管理 (うち 49,490 千円)

地域住民の移動手段を確保するため、生活交通の運行を行う。

名称	運行開始日	運行概要
豊栄そよかぜ号	H21.2.1	5 路線 23 系統、週 2 日/路線、1 日 4~8 便
安芸津海風バス	H21.4.1	3 路線 6 系統、週 2・4 日/路線、1 日 4 便
河内あゆピチふれあい号	H22.11.1	1 路線 5 系統、週 2 日/系統 (一部月~金曜日運行)、1 日 4~7 便



豊栄そよかぜ号



安芸津海風バス



河内あゆピチふれあい号

(イ) 地域主体で運行する黒瀬さくらバス、入野デマンド交通、おまるめ山バス、志和ホテル交通の運行支援 (うち 34,264 千円)

地域主体で運行する生活交通の維持・利便性向上を図るため、継続的な支援を行う。

名称	運行開始日	運行主体	運行概要
黒瀬さくらバス	H26.6.23	黒瀬さくらバス 運行協議会	6 路線 6 系統、週 1~2 日/路線、1 日 4 便
入野デマンド交通	R1.11.11	入野自治組織 篁の郷	週 6 日/地域、最大 10 便/日
おまるめ山バス	R5.10.2	小谷小学校区おまる め山バス運営協議会	5 路線 8 系統、週 2 日/ 路線、1 日 8 便
志和ホテル交通	R6.3.4	志和町地域交通運行 協議会	週 2 日/地域、最大 5 便 /日

事業の概要



黒瀬さくらバス



入野デマンド交通



おまるめ山バス



志和ホテル交通

イ 生活交通の運行改善（うち 9,460 千円）

地域での協議状況等に応じて、現在運行をしている生活交通の運行改善・利用促進を図り、生活インフラとしての公共交通を地域で守り・支えるモビリティ・マネジメントに取り組む。

■モビリティ・マネジメント

過度な自動車利用から、公共交通・自転車等を適切に利用する方向に自発的な変化を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。

② 地域公共交通会議の運営マネジメント（5,699 千円（前年度 5,730 千円））

地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けた事項を協議するため、法定の地域公共交通会議を運営する。

また、東広島市都市交通計画における横断的な進捗管理や個別プロジェクトに関する議論を進めるとともに、SNS 等を活用した双方向の情報共有を図り、計画および会議の実効性向上につなげる。



東広島市地域公共交通会議公式 SNS

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実	
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	生活交通の利用者数	18,242人/年	18,701人/年	19,650人/年
	市道の整備率	58.6%	58.7%	59.2%
	市街地における通学路の歩道等の整備率	80.3%	80.3%	89.2%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 市道、街路、県道の整備・促進	主管部局・所属	建設部 道路建設課
関係部局・所属	建設部 技術企画課	都市交通部	都市整備課
	建設部 維持課	都市交通部	交通政策課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	地域の実情に合わせた道路交通網の構築や、道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図る。	現状	生活に身近な道路交通網の構築が求められている。また、道路環境が十分に整っていない箇所がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
老朽化する道路等を適正に維持管理していく必要がある。	橋梁等道路施設の長寿命化		高	1
市街地内の良好な道路の骨格が十分でない。	都市計画道路の整備		高	2
老朽化する道路等を適正に維持管理していく必要がある。	市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕		中	3
国、県道を補完する道路網の構築が十分でない。安心・安全な自転車通行空間が十分に確保されていない。	都市計画道路以外の幹線市道の整備		中	4
地域生活に必要な国、県道の整備が十分でない。	県が整備する道路事業の促進		低	5
安全性や利便性を確保する生活に身近な道路が十分に整備されていない。	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備		低	6

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 健全度Ⅲの橋梁数	87 (R6)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	62	52	27	0 (R11)	橋
(4) 街路整備事業の進捗率(事業費ベース)	70 (R5)		87	90	94	100 (R12)	%
(7) 市道の整備率	58.6 (R5)		58.7	58.9	59.0	59.2 (R12)	%
(E) 市街地における通学路の歩道等の整備率	80.3 (R5)		82.9	84.7	86.3	89.2 (R12)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R7年度	4,160,124				
	R8年度	1,527,820				
	R7年度	4,918,080				
	R8年度	1,766,981				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	8.2.2 橋梁長期保全事業	維持課	4.20	721,806	784,182
2-1	8.5.2 街路整備事業	都市整備課	3.86	713,024	868,987
3-1	8.2.2 道路維持修繕事業	維持課	9.70	1,470,641	1,791,252
3-2	8.2.2 県道維持事業	維持課	1.00	180,498	181,498
4-1	8.2.3 幹線市道整備事業	道路建設課	7.80	597,805	849,471
5-1	8.2.3 県道整備事業	道路建設課	0.40	95,500	41,800
6-1	8.2.3 生活市道整備事業	道路建設課	3.80	380,850	400,890
合計			30.76	4,160,124	4,918,080

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。	
差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)	
平均達成率	分析

9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要な対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価	
総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針
→	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	② 市道、街路、県道の整備・促進

事業の概要				
戦略	1 橋梁等道路施設の長寿命化	予算	784,182 千円	前年度 721,806 千円
事務事業	1-1 橋梁長期保全事業	予算	784,182 千円	前年度 721,806 千円

内容

1-1_橋梁等道路施設の長寿命化

橋梁について、定期点検を行うとともに長寿命化を図る。

- ① 道路（市道）橋の点検（191,000 千円（前年度 214,000 千円））
 - ア 橋梁定期点検業務 273 橋
- ② 道路橋補修設計（22,500 千円（前年度 59,500 千円））
 - ア 橋梁補修設計業務 6 橋
- ③ 道路（市道）橋補修（553,400 千円（前年度 441,750 千円））
 - ア 補修工事 4 橋
 - イ 補修工事(PCB) 7 橋
 - ウ 小規模橋梁補修業務 6 橋
- ④ 橋梁点検用無人航空機（ドローン）の配備（3,730 千円（前年度 0 千円））
- ⑤ アセットマネジメントシステム利用料等
（13,552 千円（前年度 6,556 千円））

【活動指標】

進捗率 R8 年度補修箇所数(PCB 除く) / R11 年度までの全体補修箇所数
10 橋 / 87 橋 = 11.4%

【押谷橋(福富町) 橋梁補修状況】



[補修前]



[補修後]

事業の概要					
戦略	2	都市計画道路の整備	予算	868,987千円	前年度 713,024千円
事務事業	2-1	街路整備事業	予算	868,987千円	前年度 713,024千円

内容

2-1_都市計画道路の整備

都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けた都市計画道路の整備を行う。

- ① 都市計画道路の整備（786,296千円（前年度710,906千円））
 - ア 寺家中央線（1工区）[事業延長578m、幅員17m]（うち135,000千円）
 - イ 寺家中央線（2工区）[事業延長557m、幅員17m]（うち483,300千円）
 - ウ 吉行泉線（2工区）[事業延長460m、幅員14m]（うち109,996千円）
 - エ 中島線 [事業延長354m、幅員9.25m]（うち48,000千円）
 - オ 丸山檜原線（3工区）[事業延長450m、幅員16m]（うち10,000千円）

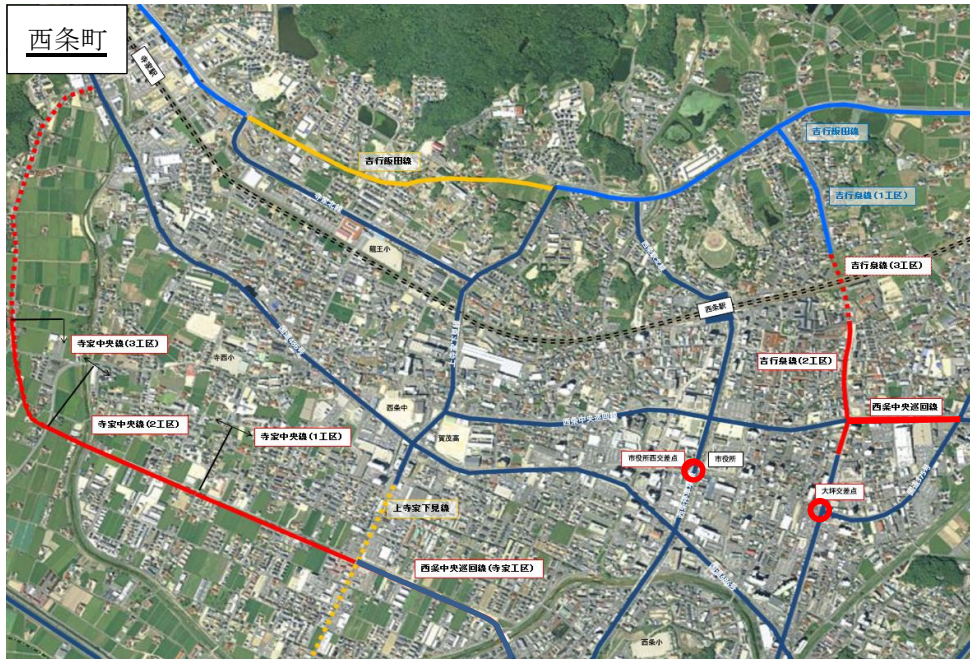
【活動指標】

路線名	内容	進捗率(事業費ベース)
寺家中央線 (1工区)	工事 物件移転補償	100%
寺家中央線 (2工区)	工事、業務委託 用地取得、物件移転補償	45%
吉行泉線 (2工区)	工事 用地取得、物件移転補償	100%
中島線	工事、業務委託 物件移転補償	100%
丸山檜原線 (3工区)	業務委託	1%

■事業スケジュール

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
寺家中央線 (1工区)		→ 工事、物件移転補償							
寺家中央線 (2工区)		→ 工事、業務委託、 用地取得、物件移転補償							
吉行泉線 (2工区)		→ 工事、用地取得、物件移転補償							
中島線		→ 工事、業務委託、用地取得							
丸山檜原線 (3工区)		→ 業務委託	● 事業認可						

事業の概要



- ② 渋滞対策路線の整備 (79,200千円 (前年度 44,948千円))
- ア 業務委託 (用地測量、補償調査等) (うち 27,100千円)
大坪交差点改良に伴う用地測量等及び吉川地区の渋滞対策検討を行う。
 - イ 用地取得、物件補償等 (うち 42,100千円)
大坪交差点改良に伴う用地取得や物件補償等を行う。
 - ウ 工事 (うち 10,000千円)
市役所西交差点の改良工事を行う。



事業の概要			
戦略	3 市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 1,972,750 千円	前年度 1,651,139 千円
事務事業	3-1 道路維持修繕事業	予算 1,791,252 千円	前年度 1,470,641 千円
内容			
3-1_市道、その他の市管理道路の維持修繕			
① 道路の維持修繕 (1,266,536 千円 (前年度 986,192 千円)) ア 年間委託による道路の維持業務 19 地区 (うち 545,000 千円) イ 年間委託による道路照明灯の維持業務 (うち 8,000 千円) ウ 年間委託による街路樹の育成管理業務 4 件 (うち 110,000 千円) エ 委託による除草伐木業務 (うち 181,100 千円) オ 測量設計等業務 (うち 99,200 千円) カ 大芝大橋保守点検業務 (うち 2,236 千円) キ トンネル点検業務 (うち 13,000 千円) ク 維持修繕工事 (うち 306,000 千円) ケ 物件補償 (うち 2,000 千円) ② 舗装の修繕 (364,400 千円 (前年度 253,352 千円)) ア 舗装修繕計画に基づく舗装工事 (170,200 千円) イ 生活道等の舗装修繕工事 (194,200 千円) ③ 交通安全施設整備 (49,600 千円 (前年度 125,830 千円)) ④ 道路維持管理作業報償金 (23,043 千円 (前年度 23,043 千円)) ⑤ 維持管理作業用原材料費等 (87,673 千円 (前年度 82,224 千円)) 【活動指標】 緊急・応急措置をした箇所数/緊急・応急措置が必要な箇所数 : 100.0%			

事業の概要			
戦略	3 市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 1,972,750 千円	前年度 1,651,139 千円
事務事業	3-2 県道維持事業	予算 181,498 千円	前年度 180,498 千円
内容			
3-2_県道移譲路線の維持修繕			
① 移譲対象 31 路線の維持修繕 (181,498 千円 (前年度 180,498 千円)) 年間委託による維持修繕業務 【活動指標】 緊急・応急措置をした箇所数/緊急・応急措置が必要な箇所数 : 100.0%			

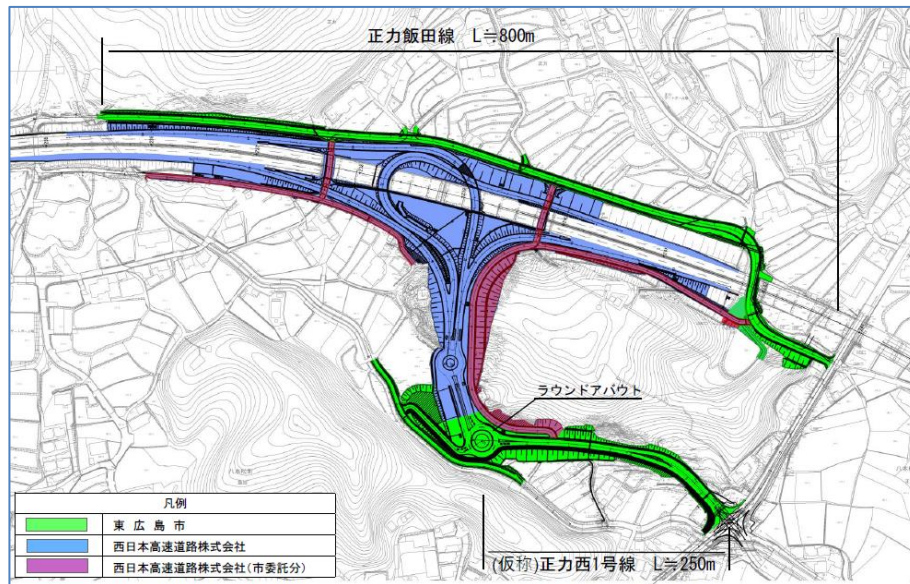
事業の概要					
戦略	4	都市計画道路以外の幹線市道の整備	予算	849,471千円	前年度 597,805千円
事務事業	4-1	幹線市道整備事業	予算	849,471千円	前年度 597,805千円
内容					
<p>4-1_幹線道路の整備</p> <p>国、県道を補完する幹線道路の整備を行う。</p> <p>① 道路改良工事（762,823千円（前年度382,388千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>(7) (仮称)八本松スマートIC関連路線（うち202,000千円） （仮称）正力西1号線、正力飯田線ほか、</p> <p>(イ) 通学路関連路線（うち351,000千円） 椀坂志和西線、駅前蓮光寺線ほか、黒瀬川1号線、寺家原線、 武士郷曾線</p> <p>(ウ) その他路線（うち209,823千円） 大河内大沢線、乃美尾兼広線、赤崎海岸線、飯田工業団地線（2工区）、 土与丸御菌宇線、上三永助実線</p> <p>② 業務委託（測量設計、用地測量、補償調査等） （26,600千円（前年度56,055千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>(7) (仮称)八本松スマートIC関連路線（うち1,800千円） 正力飯田線ほか</p> <p>(イ) 通学路関連路線（うち24,800千円） 椀坂志和西線、駅前蓮光寺線ほか</p> <p>③ 用地取得、物件補償等（60,048千円（前年度159,362千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>(7) (仮称)八本松スマートIC関連路線（うち29,850千円） （仮称）正力西1号線、正力飯田線ほか</p> <p>(イ) 通学路関連路線（うち21,700千円） 椀坂志和西線、駅前蓮光寺線ほか、寺家原線</p> <p>(ウ) その他路線（うち8,498千円） 上三永助実線</p> <p>【活動指標】</p> <p>工 事 13路線 （うち、1路線は令和5～8年度事業、3路線は7～8年度事業、 1路線は8～9年度事業、）</p> <p>業務委託 3路線 用地取得・物件補償 6路線</p>					

事業の概要

■事業スケジュール（（仮称）八本松スマート IC 整備事業）

年度	R6	R7	R8	R9
（仮称）八本松スマートIC 整備事業			→	供用開始 予定
東広島市 （仮称）正力西1号線 正力飯田線	工事	付帯工事	付帯工事 舗装工事	
NEXCO委託	工事	工事	→ 工事	

■事業概要図（（仮称）八本松スマート IC 整備事業）



事業の概要				
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算 41,800 千円	前年度 95,500 千円
事務事業	5-1	県道整備事業	予算 41,800 千円	前年度 95,500 千円
内容				
5-1_県道の受託路線の整備				
県から受託した県道東広島向原線の整備を行う。				
① 道路改良工事 (34,400 千円 (前年度 95,000 千円))				
② 業務委託 (3,500 千円 (前年度 0 千円))				
③ 用地取得等 (3,900 千円 (前年度 500 千円))				
【活動指標】				
工 事 1 路線				
業務委託 1 路線				
用地取得 1 路線				
■事業スケジュール				
年度	R6	R7	R8	R9以降
(主)東広島向原線	工事	工事	用地測量 用地取得 工事	工事

事業の概要			
戦略	6	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備	予算 400,890 千円 前年度 380,850 千円
事務事業	6-1	生活市道整備事業	予算 400,890 千円 前年度 380,850 千円
内容			
<p>6-1_生活道路の整備</p> <p>生活道路の安全な通行空間の整備を行う。</p> <p>① 道路改良工事 (325,600 千円 (前年度 270,050 千円))</p> <p>ア 継続事業</p> <p>中島 10 号線、道面郷線、篠 4 号線、志和堀西 10 号線、小谷 14 号線、行武線、見土路従線、兼沢檜原線、上三永 39 号線、下三永 3 号線</p> <p>② 業務委託 (測量設計、用地測量、補償調査) (45,600 千円 (前年度 69,200 千円))</p> <p>ア 継続事業</p> <p>八本松寺家線、大芝海岸線、御藪宇西 17 号線</p> <p>イ 新規事業</p> <p>上三永 14 号線</p> <p>③ 用地取得、物件補償等 (29,690 千円 (前年度 41,600 千円))</p> <p>ア 継続事業</p> <p>道面郷線、小谷 14 号線、上三永 39 号線、上三永 20 号線、下三永 3 号線</p> <p>【活動指標】</p> <p>工 事 10 路線 (うち、1 路線は令和 7~8 年度事業、5 路線は令和 8~9 年度事業)</p> <p>業務委託 4 路線</p> <p>物件補償 5 路線</p>			

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成	
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化の推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	汚水処理人口普及率	88.9%	90.0%	96.5%
	市民一人1日当たりのごみ排出量	900g	875g	850g

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 循環型社会の構築	主管部局・所属	生活環境部 廃棄物対策課
関係部局・所属	生活環境部 市民生活課	生活環境部	環境先進都市推進課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	3R活動を推進し、循環型社会の構築を目指す。	現状	①ごみの減量化の進捗が遅れている。 ②資源化率の維持	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市の責務として一般廃棄物を適正に処理する必要がある。		一般廃棄物処理の適正処理	高	1
市民一人1日当たりのごみ排出量が県内他市と比べて多い。		一般廃棄物の減量化の推進	中	2
資源化率の維持		資源化の促進	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(ア) 市民一人1日当たりのごみ排出量	900 (R5) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	850	850	850	850 (R12)	g
(イ) 資源化率	22.2 (R5)		22.2	22.2	22.2	22.2 (R12)	%
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	7年度		1,480,502			
			1,452,217			
	8年度		1,574,792			
			1,550,967			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	4・2・2 一般廃棄物適正処理事業	廃棄物対策課	5.50	1,392,631	1,497,824
1-2	4・1・4 環境美化及び保護事業	廃棄物対策課	1.60	30,671	32,264
2-1	4・2・2 一般廃棄物減量化推進事業	廃棄物対策課	3.00	13,267	6,403
2-2	2・1・12 食品ロス削減推進事業	市民生活課	0.76	1,345	385
3-1	4・2・2 資源化促進事業	廃棄物対策課	3.00	42,588	37,916
合計			13.86	1,480,502	1,574,792

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。	
差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)	
平均達成率	分析

9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。	



10 総合評価	
総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	① 循環型社会の構築

事業の概要				
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,530,088 千円	前年度 1,423,302 千円
事務事業	1-1	一般廃棄物適正処理事業	予算 1,497,824 千円	前年度 1,392,631 千円
内容				
1-1_一般廃棄物の適正処理				
① ごみ出し支援 (40,673 千円 (前年度 38,360 千円))				
ア ごみ指定袋の無料交付				
2 歳未満の子の養育者、公的支援措置として紙おむつの交付を受けている障がい者等を対象に「ごみ指定袋」を無料交付する。				
イ ふれあい収集の実施 (うち 34,557 千円)				
ごみ出しが困難な一人暮らし等の高齢者や障がい者を対象に、ごみの戸別収集及び希望に応じ安否確認を行う。				
ウ ライター・電池の拠点回収 (うち 759 千円)				
エ ごみステーション収集用ボックス等整備補助 (うち 5,357 千円)				
		区 分	補助率	補助限度額
		ごみ収集用ボックス	2 分の 1	200,000 円
		ごみ散乱防止用ネット	3 分の 2	50,000 円
② ごみの適正収集 (1,444,299 千円 (前年度 1,330,671 千円))				
ア ごみの収集 (うち 1,438,118 千円)				
(ア) 市内約 3,000 か所のごみステーションからのごみを収集、運搬 (うち 1,274,461 千円)				
(イ) ごみ指定袋・処理券の作成、販売 (うち 163,657 千円)				
イ 一般廃棄物適正排出指導の実施 (うち 6,181 千円)				
適正排出指導員を 2 人配置				
【新】ウ プラスチックごみのマテリアルリサイクルの導入検討				
「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」にもとづき、プラスチックごみのマテリアルリサイクルの導入に向けた検討を進める。				
③ ごみの分別・収集方法の啓発 (1,052 千円 (前年度 0 千円))				
ア SNS を活用したごみの出し方の啓発 (うち 0 千円)				
【新】イ AI ごみナビの導入 (うち 1,052 千円)				
LINE アプリを活用したごみ分別 LINE ボット (AI ごみナビ) を導入し、ごみ分別検索の利便性向上を図る。				
④ 液状一般廃棄物の収集支援 (11,800 千円 (前年度 23,600 千円))				
ア 安芸津地域の液状一般廃棄物収集業者への補助 (うち 11,800 千円)				
補助額：収集量 1 リットルあたり 2 円 (市民の負担軽減)				

事業の概要				
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,530,088 千円	前年度 1,423,302 千円
事務事業	1-2	環境美化及び保護事業	予算 32,264 千円	前年度 30,671 千円
内容				
1-2_環境美化及び保護への取組み				
① 環境美化活動 (2,136 千円 (前年度 2,034 千円))				
ア きれいなまちづくりキャンペーンの実施 (うち 902 千円)				
			(R7 年度の様子)	
イ 環境美化強化地域の清掃 清掃地域：9 地域 (うち 1,234 千円)				
② 不法投棄防止活動 (23,325 千円 (前年度 21,863 千円))				
ア 不法投棄防止看板の製作 (うち 799 千円)				
看板：6 種類 計 190 枚、支柱 100 本				
イ 不法投棄パトロール及び不法投棄ごみの回収 (うち 21,555 千円)				
市内を 4 ブロックに分け不法投棄の監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行う。				
			(不法投棄現場)	
ウ 不法投棄ごみの処理 (うち 971 千円)				
広島中央環境衛生組合で処理できない処理困難物 (タイヤ・家電 4 品目等) の処理を外部委託により行う。				
エ 不法投棄されない環境づくり (うち 0 千円)				
(7) 監視カメラの設置				
ごみを繰り返し投棄される場所に、移動式監視カメラを一定期間設置する。				
③ 公衆衛生推進団体の育成支援 (6,803 千円 (前年度 6,774 千円))				
環境と健康をコミュニティで守るために組織された公衆衛生推進協議会の育成・支援を行う。				
ア 地域活動費補助 (うち 2,963 千円)				
イ 環境活動費補助 (うち 3,840 千円)				
環境保全監視員 94 名による不法投棄監視パトロール、ごみの収集を行う。				

事業の概要														
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	6,788千円	前年度 14,612千円									
事務事業	2-1	一般廃棄物減量化推進事業	予算	6,403千円	前年度 13,267千円									
内容														
2-1_一般廃棄物の減量化の推進														
① ごみの減量化の推進 (6,403千円 (前年度 7,184千円))														
ア 啓発活動の実施 (うち 1,203千円)														
(7) 広報紙、FM 東広島等を活用した広報活動														
(1) LINE アプリを活用したごみ分別														
LINE ボット (AI ごみナビ) の利便性を広く市民に使ってもらうため、情報紙等の広告や動画を作成し普及を促進する。														
イ ごみ減量出前講座の開催														
自治会・サークルなどの団体やグループの依頼に基づき、3R の推進、広島中央エコパーク、ごみ分別等に関する講座を出張して開催する。														
ウ 生ごみ処理容器等の購入費助成・貸出し (うち 5,200千円)														
(7) 生ごみ処理容器等の購入費費用の一部を助成 (うち 5,068千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>助成率</th> <th>助成限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生ごみ処理容器 (コンポスト、かばん型、キエーロ等)</td> <td rowspan="3">2分の1</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>電気式生ごみ処理機</td> <td rowspan="2">30,000円</td> </tr> <tr> <td>小型剪定枝破砕機</td> </tr> </tbody> </table>						対象	助成率	助成限度額	生ごみ処理容器 (コンポスト、かばん型、キエーロ等)	2分の1	10,000円	電気式生ごみ処理機	30,000円	小型剪定枝破砕機
対象	助成率	助成限度額												
生ごみ処理容器 (コンポスト、かばん型、キエーロ等)	2分の1	10,000円												
電気式生ごみ処理機		30,000円												
小型剪定枝破砕機														
【活動指標】														
生ごみ処理容器等購入費助成数 268 個														
※R6 実績 246 個、R7 実績 230 個 (見込)														
(1) 生ごみ処理機の貸出し (うち 132千円)														
【廃】 生ごみ処理容器利用講習会の実施 (前年度 866千円)														
新たに補助対象とした生ごみ処理容器キエーロの普及啓発を目的に実施したが、当初予定していた3年間を経過したため廃止する。														
② 一般廃棄物の分析調査 (0千円 (前年度 6,083千円))														
ごみの組成を分析 (隔年) することにより、減量化のターゲットを絞り込み次年度以降の施策に反映させる。														

事業の概要				
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算 6,788 千円	前年度 14,612 千円
事務事業	2-2	食品ロス削減推進事業	予算 385 千円	前年度 1,345 千円

内容

2-2_食品ロス削減の推進

① 食品ロス削減啓発の取組み (385 千円 (前年度 1,345 千円))

市民及び食品ロス削減協力店等の事業者に対して食品ロス削減に係る啓発グッズやポスターを作成するほか、協力店と連携した啓発を実施する。



(食品ロス削減献立を活用したお弁当)



(食品ロス削減啓発ポスター)

【廃】 フードドライブの実施 (前年度 270 千円)

民間でのフードドライブ事業が普及したため廃止する。

事業の概要				
戦略	3	資源化の促進	予算 37,916 千円	前年度 42,588 千円
事務事業	3-1	資源化促進事業	予算 37,916 千円	前年度 42,588 千円
内容				
3-1_ゼロエミッション（資源循環）の推進				
① 食品残さ等の資源化支援（2,233 千円（前年度 7,283 千円））				
【廃】ア 飲食料品等小売業者が行う食品残さの資源化に対する支援 （前年度 5,050 千円）				
食品残さの資源化に取りくむ事業者に対し導入支援として3年間の期間限定で補助を行っていたが、参加していた全ての事業者の補助期間が終了したため廃止する。				
イ ミミズコンポストの活用によるたい肥化の啓発（うち 2,233 千円）				
② 資源回収団体等への活動支援（15,072 千円（前年度 16,139 千円））				
資源回収を実施する団体へ回収量に応じた報償金を交付する。 ・報償金 10 円/kg				
③ 有価物の回収促進（5,341 千円（前年度 5,204 千円））				
市役所本庁・支所・出張所等の拠点において古布・古着・小型家電を回収する。				
④ 剪定枝の資源化促進（12,104 千円（前年度 11,985 千円））				
剪定枝粉碎処理車（タウンビーバー）を利用者宅等へ派遣する。				
【活動指標】				
派遣回数 220 回				
※R6 実績 213 回、R7 実績 206 回（見込）				
⑤ 紙ごみの資源化の促進（2,908 千円（前年度 1,724 千円））				
ア 機密文書資源化処理事業者への支援（うち 1,559 千円）				
大量の紙ごみを排出している事業者に対し、その資源化に係る費用の一部を補助することで、紙ごみの自発的な資源化を促進する。				
補助率		補助限度額		
2 分の 1		30,000 円/回（年間 4 回・100,000 円）		
イ 廃棄文書出張裁断車派遣（うち 339 千円）				
大型シュレッダーを搭載した車両を招聘し、機密文書をその場で裁断・減容化することで、ごみとして処分するのではなく、情報漏洩を防ぎつつ安全に資源化できることを体験していただく機会を設ける。				
ウ 庁舎から排出される紙ごみの処理（うち 1,010 千円）				
⑥ 廃棄物減量化等推進員の活動支援（258 千円（前年度 253 千円））				
廃棄物減量化等推進員（リサイクル推進員）を対象に、ごみ減量化等に関するワークショップを開催する。 （R7 年度参加者 40 名 36 自治協）				

令和 8 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成	
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	汚水処理人口普及率	88.9%	90.0%	96.5%
	市民一人1日当たりのごみ排出量	900g	875g	850g

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 水の安定供給	主管部局・所属	生活環境部 生活衛生課
関係部局・所属	地域振興部 豊栄支所地域振興課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	安全で良質な水を安定的に供給する。	現状	施設の老朽化が進んでおり、将来に向けて多くの課題がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
常に飲料水等を確保できる施設・設備の維持管理が必要である。	水道施設の維持管理、持続可能性の確保		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 水の年間安定供給日数(計画修繕等による停止を除く)	364 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	365	365	366	365 (R12)	日
(4)	()					()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度			11,474			
			9,826			
R8年度			13,361			
			11,828			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	4・1・4 専用水道等運営事業	生活衛生課	0.35	11,474	13,361
合計			0.35	11,474	13,361

7 R8事業費の分析（差額＝「R8年度当初予算額」－「R8年度決算額」） ※決算額には繰越を含む。	
差額	分析

8 R8成果指標の分析（成果指標の平均達成率）	
平均達成率	分析

9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か（直営・委託等）	
外的要因	・外的な要因による影響はあったのか。	

10 総合評価	
総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針
→	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	② 水の安定供給

事業の概要			
戦略	1 水道施設の維持管理、 持続可能性の確保	予算 13,361 千円	前年度 11,474 千円
事務事業	1-1 専用水道等運営事業	予算 13,361 千円	前年度 11,474 千円
内容			
<p>1-1_水道施設の維持管理、持続可能性の確保</p> <p>① 専用水道等の適切な運営（13,361 千円（前年度 11,474 千円））</p> <p>豊栄中央住宅団地専用水道施設、河内町大仙地区飲料水供給施設について適切に維持管理を行い、安全で良質な水を安定的に供給する。</p> <p>ア 豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営（うち 7,696 千円）</p> <p>(ア) 水道企業団委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ウ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(エ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(オ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p> <p>イ 河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営（うち 5,665 千円）</p> <p>(ア) 水道企業団委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ウ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(エ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(オ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料、備品購入費等</p> <p>・ROろ過膜装置修繕等</p>			

令和 8 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成	
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	汚水処理人口普及率	88.9%	90.0%	96.5%
	市民一人1日当たりの ごみ排出量	900g	900g	850g

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 公共用水域の水質保全	主管部局・所属	下水道部 下水道管理課
関係部局・所属	下水道部	下水道建設課	下水道部 下水道施設課
	生活環境部	生活衛生課	地域振興部 河内支所地域振興課

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の 目指す姿	市域の汚水を適正に処理し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。	現状	東広島市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備事業及び小型浄化槽設置整備事業を進めているが、単独浄化槽・くみ取り槽の件数が多数残り、生活雑排水が未処理のまま公共用水域に入っている。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
下水道未普及地域の早期解消と既存下水道施設の老朽化に伴う改築需要の増加に対応していく必要がある。		下水道事業の推進		中	1
下水道等整備区域外から発生する生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する必要がある。		浄化槽設置整備の促進		中	2
河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に管理する必要がある。		特定地域生活排水処理施設の運営管理		中	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(ア) 下水道処理人口普及率	48.3 (R5)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	54.6	55.6	56.8	60.2 (R12)	%
(イ) 小型浄化槽設置基数 (改築分)	98 (R5)		110	100	100	100 (R12)	基
(ウ) 法定検査受検率	77.8 (R4)		78.7	78.9	79.1	79.7 (R12)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費（千円）	一般会計等	R7年度		R8年度					
		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額	
		事業費	124,497		101,757				
		一般財源	74,828		39,133				
		R7年度		R8年度					
		人件費							
	公営企業会計	R7年度		R8年度					
		当初予算額		決算額		当初予算額		決算額	
		収益的収入	5,673,659		5,929,709				
		収益的支出	5,409,980		5,617,995				
		差引	263,679		311,714				
		当年度純利益(又は純損失)	13,730		5,987				
		資本的収入	3,405,735		4,733,386				
		資本的支出	4,969,290		6,407,872				
差引	△ 1,563,555		△ 1,674,486						
R7年度		R8年度							
人件費									

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	③ 公共用水域の水質保全

事業の概要						
戦略	1	下水道事業の推進	予算	12,025,867千円	前年度	10,379,270千円
事務事業	1-1	下水道事業 【下水道事業】	予算	12,025,867千円	前年度	10,379,270千円

内容

下水道事業会計

1-1_下水道事業の効率化、経営健全化の取組み

① 下水道経営の健全化（2,083,730千円（前年度2,081,151千円））

ア 適切な施設管理、収納率向上、普及啓発の取組み（うち2,083,730千円）

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組み、経営の健全化を図る。

・下水道施設維持管理費 (千円)

セグメント（事業）	処理場	管渠・ポンプ場	合計
公共下水道	1,574,162	154,436	1,728,598
特定環境保全公共下水道	68,999	14,773	83,772
農業集落排水	112,449	23,303	135,752
産業団地汚水処理施設	39,225	0	39,225
合計	1,794,835	192,512	1,987,347

・収納率向上、普及啓発活動の取組み (千円)

内容	予算額
使用料徴収事務委託	90,983
水洗便所改造資金貸付金	5,400

イ 汚水適正処理構想の改定（うち0千円）

下水道事業を取り巻く環境を鑑みて最適な汚水処理手法を検討し、汚水適正処理構想の改定を行う。

(千円)

内容	予算額
東広島市汚水適正処理構想改定業務	0

※令和8年度は令和7年度に検討した構想素案をもとに地元説明やパブリックコメントを経て成案とするための業務であり予算執行を伴わない

事業の概要

② 計画的、効率的な施設の建設と更新

(4, 130, 450 千円 (前年度 2, 654, 568 千円))

ア 東広島浄化センターの増設・改造 (うち 1, 244, 000 千円)

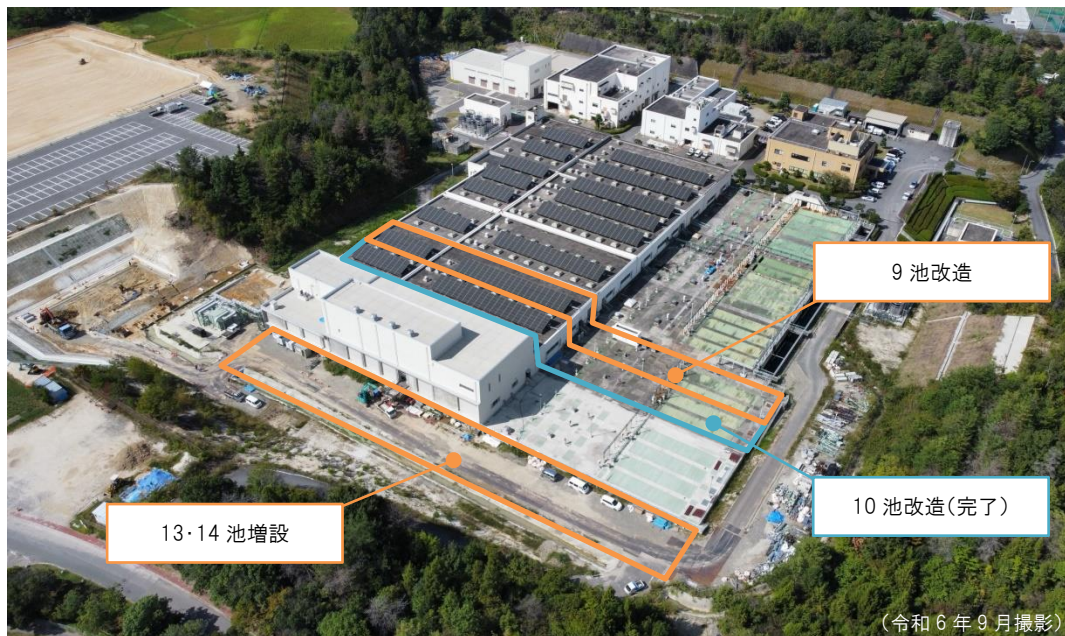
流入水量の増加や水質の変化に対応するため、東広島浄化センターの水処理施設の増設、改造を行う。

・ 流入水量増加に対応するための水処理施設増設

内 容	R8	R9	R10	R11	R12	R13
13・14 池増設	設 計		工 事			

・ 水質変化に対応するための高度処理化

内 容	R4	R5	R6	R7	R8
10 池改造	設 計	工 事			
9 池改造				工 事	



イ 未普及解消整備計画に基づく汚水管渠整備工事 (うち 1, 717, 550 千円)

下水道未普及地域の早期解消を目的に策定している下水道未普及解消整備計画に基づき、汚水管渠の整備を行う。

(千円)

内 容	予算額
汚水管渠設計業務	80, 500
汚水管渠建設工事	1, 633, 000
汚水管渠建設工事 (他事業合併施工分)	4, 050

【活動指標】

令和8年度汚水管渠工事着手延長：6, 060m

事業の概要

- ウ ストックマネジメント計画に基づく施設の改築（うち 563,100 千円）
 下水道サービスを継続して安定的に供給するため、ストックマネジメント計画に基づき下水道施設（処理場、ポンプ場）の改築を行う。

（千円）

内 容	予算額
ストックマネジメント設計業務	101,000
ストックマネジメント工事	462,100

- エ 汚水管渠の改築（うち 346,800 千円）

雨天時不明水の流入による処理水量の増加を抑制するため、汚水管渠の改築を行う。

（千円）

セグメント（事業）	予算額
公 共 下 水 道	27,800
農 業 集 落 排 水	319,000

- オ 圧送管渠の二条化対策（259,000 千円）

圧送管渠の老朽化に伴う施設改築のため、圧送管渠の二条化を行う。

（千円）

内 容	予算額
高屋圧送幹線二条化詳細設計業務	59,000
高 屋 圧 送 幹 線 改 築 工 事	200,000

- ③ 災害に強い下水道の構築（156,000 千円（前年度 95,000 千円））

- ア 下水道施設の耐震対策

地震時においても持続的に水インフラを機能させるため、上下水道耐震化計画等に基づき下水道施設の耐震化を図る。

（千円）

内 容	予算額
東広島浄化センター耐震実施設計業務	80,000
黒瀬水質管理センター耐震実施設計業務	20,000
下 水 道 管 路 耐 震 対 策 検 討 業 務	22,000
下 水 道 管 路 耐 震 診 断 調 査 業 務	34,000

事業の概要					
戦略	2	浄化槽設置整備の促進	予算	89,529千円	前年度 112,513千円
事務事業	2-1	浄化槽設置整備事業	予算	89,529千円	前年度 112,513千円
内容					
2-1_浄化槽設置整備の促進					
① 浄化槽設置整備の促進 (89,529千円 (前年度 112,513千円))					
ア 小型浄化槽設置補助 (改築) (うち 35,518千円)					
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用の一部を補助する。					
浄化槽 区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	県補助金 (1/3)
5人槽	332千円	75基	24,900千円	12,450千円	8,300千円
7人槽	414千円	23基	9,522千円	4,761千円	3,174千円
10人槽	548千円	2基	1,096千円	548千円	365千円
合計		100基	35,518千円	17,759千円	11,839千円
【拡】イ 単独浄化槽・くみ取り槽転換に伴う槽撤去・配管工事費補助 (うち 45,300千円)					
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。					
(7) 単独浄化槽・くみ取り槽撤去の補助限度額の増 (うち 3,000千円)					
環境省の浄化槽転換促進支援策に伴い、単独浄化槽撤去の補助限度額を「120千円」から「150千円」に、くみ取り槽撤去の補助限度額を「90千円」から「120千円」に増額する。					
(イ) 配管工事費の補助限度額の増 (うち 3,000千円)					
環境省の浄化槽転換促進支援策に伴い、配管工事の補助限度額を「300千円」から「330千円」に増額する。					
区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	
単独浄化槽撤去	150千円	10基	1,500千円	750千円	
くみ取り槽撤去	120千円	90基	10,800千円	5,400千円	
配管工事	330千円	100基	33,000千円	16,500千円	
合計			45,300千円	22,650千円	
ウ 人口減少地域における定住促進に対する補助 (うち 5,000千円)					
補助金対象区域内で、人口減少地域に所在する単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。					
区分	補助限度額	予定基数	交付見込額		
人口減少対策	100千円	50基	5,000千円		

事業の概要

エ 浄化槽の法定検査の受検推進等（うち 3,711 千円）

(7) 法定検査受検指導

法定検査の未受検者等を対象に、受検指導を実施する。

(イ) 浄化槽現況調査、普及啓発

浄化槽の現況調査、普及啓発活動を実施する。

【活動指標】

法定検査受検率：78.9%

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
受検率(%)	76.3	76.2	77.5	77.8	76.6	78.4

事業の概要				
戦略	3	特定地域生活排水処理施設の運営管理	予算 12,228 千円	前年度 11,984 千円
事務事業	3-1	特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	予算 12,228 千円	前年度 11,984 千円
内容				
3-1_特定地域生活排水処理施設の運営管理				
① 特定地域生活排水処理施設の管理運営(12,228 千円(前年度 11,984 千円))				
河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に運営・維持管理する。				
(対象 132 基、うち 123 基が稼働中)				
ア 河内町小田地区の特定地域浄化槽の管理運営 (12,228 千円)				
(ア) 特定地域浄化槽維持管理業務委託				
(イ) 法定検査受検				
(ウ) 汚泥抜き取り				
(エ) 消費税申告書作成業務				
(オ) 修繕料、通信運搬費、消費税				
・ブローア修繕等				

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	4 豊かな自然環境の保全	
施策の将来の目標像	地域の自然環境の持つ価値や機能が十分に認識され、豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	環境活動参加率	33.7%	39.0%	50.0%
	河川における環境基準達成率(BOD)	80.0%	90.0%	92.4%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 豊かな自然環境の保全	主管部局・所属	生活環境部 生活衛生課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	良好な生活環境の保全や生物多様性の維持	現状	市民の環境意識の低下への懸念	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
自然に親しむ機会の減少による環境意識の低下 市街化の進展に伴う環境悪化が懸念される		市民の環境意識の向上 環境汚染の未然防止	高	1
犬・猫に関する苦情が多く、適正な飼養と飼い主 のマナー向上を図る必要がある		市民の生活環境の保全	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 環境活動参加率	33.7 (R5)		37.3	39.6	43.0	50.0 (R12)	%
(1) 環境基準達成率 (BOD)	80.0 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	83.4	85.1	86.8	92.4 (R12)	%
(7) 狂犬病予防注射接種 率	77.3 (R5)		77.7	77.9	78.1	78.7 (R12)	%

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		7 年度	82,976	42,853		
8 年度	58,330	29,050				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	4・1・4 環境保全事業	生活衛生課	4.49	70,602	45,221
2-1	4・1・2 狂犬病予防事業	生活衛生課	1.82	12,374	13,109
合計			6.31	82,976	58,330

7 R8事業員の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
----	----

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
-------	----

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>
------	------

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
----	----------------

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	4 豊かな自然環境の保全	① 豊かな自然環境の保全

事業の概要			
戦略	1 市民の環境意識の向上 環境汚染の未然防止	予算 45,221 千円	前年度 70,602 千円
事務事業	1-1 環境保全事業	予算 45,221 千円	前年度 70,602 千円
内容			
1-1_環境汚染の未然防止			
① 環境監視による地域環境の維持・向上 (42,526 千円 (前年度 67,591 千円))			
ア 環境監視の実施 (うち 27,887 千円)			
大気・水質・騒音などの環境調査を実施し、環境を監視する。調査結果は環境白書やホームページで公表する。			
項目	内容	事業費	
公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等の河川及び地下水の水質調査を行う (28 地点)。	12,263 千円	
大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行う (13 地点)。	5,887 千円	
自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	市内の自動車騒音や環境騒音の実態を調査し、騒音公害防止のための基礎資料とする。(自動車騒音 17 路線、環境騒音 58 地点)	5,629 千円	
工場排水水質検査	工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行う (延べ 93 事業所)。	2,206 千円	
臭気指数測定調査	悪臭公害防止のため、悪臭防止法に基づく測定と指導を行う。	297 千円	
その他業務	環境監視や公開苦情等に対応する。	1,605 千円	
イ 環境審議会の運営 (うち 1,140 千円)			
環境の保全や創出に関する基本的事項を調査・審議する。			
ウ PFOS 及び PFOA 対策 (うち 8,680 千円)			
PFOS 等の指針値超過エリアにおいて、河川や地下水の水質をモニタリングする。また PFOS 等調査検討委員会を開催する。			
エ 家庭用浄水器設置補助金 (うち 750 千円)			
水道事業の未給水区域において、地下水汚染が確認された井戸を飲用に使用している市民に対し、安全な飲料水の確保を目的として、浄水器の購入費用の一部を補助する。			
(7)汚染対象物質	環境省が定める地下水環境基準 (28 項目)		
(イ)対象浄水器	逆浸透膜方式で、前処理フィルターを有する家庭用浄水器		
(ウ)補助額	浄水器の購入及び設置に係る費用 (消費税額を除く) の 1/2、15 万円を限度		

事業の概要

【新】オ 第2次東広島市環境基本計画中間見直し（うち4,069千円）

計画期間（令和4年度～令和13年度）の中間年を迎えるにあたり、施策の実効性や目標の達成状況を検証するとともに、社会情勢や環境課題の変化を踏まえた計画の改定を行う。

② 市民の環境意識の向上（2,695千円（前年度3,011千円））

ア 各種啓発活動の継続

第2次東広島市環境基本計画の年次報告書として、東広島の環境（環境白書）をとりまとめ、本市の環境調査結果や各主体の活動を公表するとともに、ひがしひろしまこどもエコ探検隊等の環境学習の機会を充実させる。
（出前講座等参加人数） （単位：人 []内は開催回数）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
出前講座	252 [13]	948 [19]	601 [13]	1,095 [19]	630 [15]
エコ探検隊	22 [1]	135 [4]	112 [4]	208 [4]	366 [4]

※R7はR8.1月末時点

事業の概要								
戦略	2	市民の生活環境の保全	予算	13,109千円	前年度	12,374千円		
事務事業	2-1	狂犬病予防事業	予算	13,109千円	前年度	12,374千円		
内容								
2-1_市民の生活環境の保全								
① 犬・猫の適正な飼養の促進（13,109千円（前年度12,374千円））								
ア 狂犬病予防の推進（うち3,993千円）								
<p>狂犬病予防注射接種率の向上のため、動物病院との連携や、集合注射の実施（55会場）、全登録者への案内通知、未受診者への督促通知、広報啓発（12回）を行う。</p> <p>（狂犬病予防注射の接種状況） （単位：件）</p>								
注射の区分	R4実績	R5実績	R6実績	R7 (12月末時点)				
登録数	9,597	9,724	9,968	9,944				
集合注射	395	381	338	316				
個別注射	6,605	7,136	6,878	5,700				
注射合計	7,000	7,517	7,216	6,016				
接種率	72.9%	77.3%	72.4%	60.5%				
イ 犬・猫など愛護動物の正しい飼い方の推進（うち3,152千円）								
<p>動物愛護についての普及・啓発のため、広島県、動物愛護ボランティアとの連携によるイベントの開催、ペットと飼い主の防災手帳の作成、譲渡犬猫の不妊去勢手術に係る経費の補助を行う。</p> <p>（犬猫譲渡会の参加人数） （単位：人）</p>								
年度	R4		R5		R6		R7	
	6月	10月	6月	10月	6月	10月	6月	10月
人数	900	1,700	1,000	1,000	1,300	1,000	900	700
※R4.10月は市主催「環境フェア」と同日開催。								
（譲渡犬猫の参加・成約数）								
年度	R4		R5		R6		R7	
	6月	10月	6月	10月	6月	10月	6月	10月
犬参加	7	13	8	11	11	9	5	16
犬成約	2	5	3	3	3	3	0	3
猫参加	63	96	45	82	45	80	54	68
猫成約	17	16	8	17	21	14	12	17

事業の概要

(譲渡犬猫不妊去勢手術費補助金交付状況)

年度	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (12月末時点)
申請数	16件	22件	29件	15件
補助額	1,100千円	717千円	901千円	649千円
犬	10頭	12頭	11頭	3頭
猫	70頭	33頭	50頭	43頭

ウ 野良犬・猫対策 (うち 5,964 千円)

(7) 野良犬対策 (うち 5,184 千円)

- ・広島県動物愛護センターとの連携による保護活動の実施
- ・野良犬保護器の貸出しによる保護・搬送

(保護器設置・搬送等の件数) (単位：件)

年度	R4	R5	R6	R7 (12月末時点)
件数	64	29	12	15

(1) 野良猫対策 (うち 780 千円)

- ・広島県が推進する地域猫活動についての広報等による周知
- ・地域猫活動を実施する地域と県との調整・協議
- ・地域猫活動団体への補助金交付

(地域猫活動団体申請数) (単位：件)

年度	H28～R3	R4	R5	R6	R7 (12月末時点)	計
件数	26	6	8	12	1	53

(地域猫活動費補助金交付状況)

年度	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 (12月末時点)
申請数	5件	3件	14件	7件
補助額	100千円	50千円	260千円	120千円

- ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術に係る経費の補助

飼い主のいない猫の増加を抑制し、苦情を減少させるために住民が行う不妊去勢手術の経費に対し補助を行う。

(飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金交付状況)

年度	R7 (12月末時点)
申請数	9件
補助額	118千円

令和 8 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	
施策の将来の目標像	共通の目的の実現や地域課題の解決のため、コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍することにより、地域の持つ力が向上しています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R5年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	地域コミュニティ活動への参加率	72.1%	75.2%	77.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属	産業部	ブランド推進課	

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	現状	住民の地域コミュニティ活動の参加率及び住民自治協議会の認知度が低い。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
住民自治協議会等の持続性の強化(担い手・後継者育成、加入促進等)に向けた支援が必要		住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	高	1
老朽化した地域センターの改修、地区拠点施設の機能向上が必要		活動拠点の充実	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 地域コミュニティ活動への参加率	72.1 (R5)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	73.4	74.0	74.6	77.0 (R12)	%
(4) 住民自治協議会の認知度	70.1 (R5)		72.5	73.7	74.6	78.0 (R12)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 7 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		1,869,253				
		516,243				
	R 8 年度	1,460,406				
		341,330				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	2・1・9 市民協働推進事業	地域づくり推進課	6.90	258,887	274,239
1-2	2・1・9 ふるさと寄附金運営事業	ブランド推進課	0.95	656,614	761,783
2-1	2・1・9 地域活動拠点整備事業	地域づくり推進課	1.80	903,719	333,781
2-2	2・1・9 コミュニティ推進事業	地域づくり推進課	1.94	50,033	90,603
合計			11.59	1,869,253	1,460,406

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

事業の概要			
戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 1,036,022 千円	前年度 915,501 千円
事務事業	1-1 市民協働推進事業	予算 274,239 千円	前年度 258,887 千円

内容

1-1_市民協働の推進

① 住民自治協議会等の持続可能な活動の支援

(235,030 千円 (前年度 218,749 千円))

市民協働のまちづくりの更なる発展を図るため、具体的施策に取り組む。

【拡】ア 地域づくり推進交付金の交付 (うち 198,933 千円)

地域を代表する組織である住民自治協議会が特色あるまちづくりに取り組むことを促進するために、地域づくり推進交付金を交付する。

	算定項目	対象事業等 (例)
基本項目	①均等割	○組織運営に必要な経常経費 (報償費、拠点維持管理費、備品購入等)
	②世帯割	
	③過疎地域持続的発展特別加算	○地域の課題解決や魅力向上を目的として地域主体で実施する事業
	④拠点加算	
	⑤避難行動要支援者避難支援プラン策定加算	
	⑥ (仮称) 協働活動割	
項目	①敬老事業	敬老会等、高齢者を敬う事業
	②公衆衛生推進事業	地域清掃、健康関連事業等
	③広報紙等配布事業	広報紙等の戸別配布事業

イ 市民協働のまちづくり活動応援補助金の交付 (うち 10,000 千円)

市民活動団体等が行う地域の課題解決及び魅力向上につながる公益的な活動に対し、補助金を交付することで、市民協働のまちづくりを推進する。



NPO 法人白市町家保存会 (市民活動団体枠)



いっしょに遊ぼう西条キッズ (チャレンジ支援枠)

事業の概要

【廃】 市民協働のまちづくり講演会等の開催（前年度 901 千円）

令和6年度から市民協働センターの機能強化を図っており、住民自治協議会等の運営支援に関する講座の充実に取り組んでいるため、令和7年度をもって廃止する。

【拡】 ウ 集落支援員の配置（うち 26,097 千円）

(ア) 地域コーディネーター（うち 13,297 千円）

人口減少地域が抱える広域的な地域課題の解消や魅力向上につながる活動を推進するための人材を配置する。

(イ)（仮称）地域支援員（うち 12,800 千円）

住民自治協議会事務局の負担軽減を図るため、組織運営に伴う事務を担う人材を配置する。

② 地域活動団体による住民自治協議会等のサポート、連携の促進

(33,131 千円（前年度 38,580 千円）)

まちづくりの多様な担い手の活動を維持し、発展させていくため、地域活動団体による住民自治協議会等のサポートや連携を促進する。

ア 市民協働センターの管理運営（うち 7,422 千円）

「市民と市民」、「市民と行政」の協働の拠点として、市民活動や担い手の交流・ネットワークづくりを支援し、市民協働のまちづくりを推進する。

イ 市民協働のまちづくりを推進する人材の配置（うち 14,419 千円）

市民協働センター専門員及び協働支援員を配置し、住民自治協議会や市民活動団体の活動支援や連携のコーディネート等を支援する。

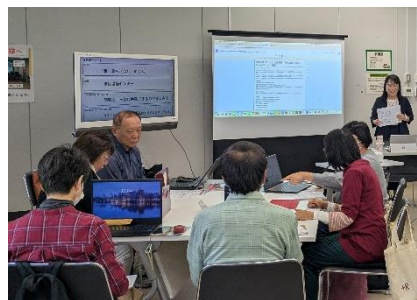


まちづくり計画の更新検討ワークショップの様子／小谷小学校区市民協働まちづくり協議会

事業の概要



自治協ヨコの交流会#16
「自治協のことについて知ろう」



地域活動に役立つ Google フォーム講座

ウ 「まちづくり実践講座」の開講（うち 892 千円）

学生のまちづくりに対する関心を高めるとともに、各地域で関係人口の拡大や多世代交流を推進するため、広島大学と連携し講座を開講する。

エ 「学生協働支援隊」による地域おこしのきっかけづくり

（うち 8,725 千円）

地域貢献意欲の高い学生の経験や学びをまちづくりに活かし、住民自治協議会等の組織運営や事業を支援する。



地域マップのデジタル化支援
／東志和小学校区住民自治協議会



こども夢拾い大集合
／こども夢拾い（市民活動団体）

オ 市民協働推進イベントの開催による市民活動の周知（うち 1,673 千円）

市民の方々が地域での活動を始めるきっかけづくりや市民活動団体間の連携機会の創出等を目的として、市民協働推進イベントを開催する。



市民活動団体による活動紹介の様子

③ 市民活動情報の共有の促進 (1,548 千円 (前年度 1,558 千円))

まちづくりの多様な担い手による活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進する。

ア 市民活動の情報発信の支援 (1,548 千円)

各団体の SNS 等の民間情報発信媒体を活用した効果的な情報発信を支援するとともに、地域課題の解決等に精力的に取り組んでいる団体の周知を図り、様々な活動を支援する。

活動の情報発信は仲間づくりの第一歩！

情報発信、できていますか？

市民団体向け
相談窓口
開設中！

こんなお悩みありませんか？

- 「何から始めたらいいかわからない」
- 「SNSを活用してみたい」
- 「団体の活動をもっとPRしたい」
- 「効果的な情報発信の方法を知りたい」

積極的に関わり合いを促す！

SNSの正しい
使い方

東広島で活躍中の市民活動団体
のぞいてみよう！ 東広島里親サークル NanjaMonja

設立から4年！
「里親サークルNanjaMonja」の活動が地域に広がるまで

里親サークルNanjaMonjaは、東広島市にあり、子育て支援を目的として、2014年に設立された市民活動団体です。里親の募集や、里親のサポート、里親の研修などを行っています。また、里親の悩みを解決するための相談窓口も設けています。設立から4年、地域に広がるまで、様々な活動を行っています。

事業の概要				
戦略	1	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 1,036,022 千円	前年度 915,501 千円
事務事業	1-2	ふるさと寄附金運営事業	予算 761,783 千円	前年度 656,614 千円
内容				

1-2_ふるさと寄附金制度の活用

ふるさと寄附金制度を活用し、市の魅力を発信するとともに地域活動をはじめとした各施策の財源確保、地域産業の振興を図る。

① 専門サイトの活用及び返礼品の拡充(761,783千円(前年度656,614千円))

ふるさと寄附金運営サイトに掲載する返礼品の拡充を通して、本市特産品のPR、魅力発信を行い、地域産業の振興を図る。

また、クラウドファンディングの活用等により、寄附を通じた地域課題等に対する各施策の周知・理解促進の場とするとともに、財源確保を図る。



東広島市ふるさと寄附金に係る返礼品（一例）

事業の概要

戦略	2	活動拠点の充実	予算	424,384千円	前年度	953,752千円
事務事業	2-1	地域活動拠点整備事業	予算	333,781千円	前年度	903,719千円

内容

2-1_地域活動拠点の整備

市民協働のまちづくりを推進するため、地域センター等を住民自治協議会及び生涯学習の活動拠点として整備・充実させるとともに、大規模改修により長寿命化を図る。

① 地域センター改修設計（8,200千円（前年度9,500千円））

ア 木谷地域センター改修設計（8,200千円）

老朽化している木谷地域センターについて、改修設計を行う。



木谷地域センター

年度	R 8	R 9	工事概要
設計	→		R 8 事業内容：改修設計業務
工事		→	

② 地域センター等の整備・改修（322,314千円（前年度892,957千円））

ア 西志和地域センター浄化槽改修工事（うち16,164千円）

西志和地域センターについて、浄化槽の改修工事を行う。

年度	R 7	R 8	工事概要
設計	→		R 8 事業内容：改修工事
工事		→	

事業の概要

イ 安宿地域センター新築工事（うち 191,800 千円）

耐震性のない安宿地域センターについて、敷地内で新築工事を行う。



安宿地域センター新築予定位置

年度	R 7	R 8	工事概要
調査・設計	→		R 8 事業内容：新築工事
工 事		→	

ウ 入野地域センター大規模改修工事（うち 70,580 千円）

改修の優先度が高い入野地域センターについて、長寿命化のための大規模改修を行う。



入野地域センター

年度	R 6	R 7	R 8	工事概要
設 計	→			R 8 事業内容：改修工事
工 事		→		

エ 環境に配慮した施設改修（うち 43,770 千円）

(ア) E S C O 事業（うち 43,508 千円）

施設運営時の二酸化炭素排出量の低減を図ることを目的として、E S C O 事業を活用して空調設備の更新を行った地域センターに係る E S C O 事業費の支払いを行う。

【R 6 年度導入地域センター】 寺西、三永、板城

【R 5 年度導入地域センター】 郷田、平岩、高屋東

(イ) 地域センターの照明 L E D 化（うち 262 千円）

リース方式により L E D 化を行った地域センターに係る賃貸借料を支払う。

事業の概要

③ 地域拠点改修・修繕計画の推進（0千円（前年度0千円））

ア 地域拠点施設の計画的な改修・修繕

地域センター及び地区拠点施設について、長期的な視点で改修及び修繕を行うため、施設の劣化状況の確認、改修及び修繕に必要となる関係団体との調整を行う。


イ 八本松地域センター等複合施設整備

老朽化している八本松地域センターを八本松出張所等と複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設する。



八本松地域センター等複合施設建設予定地

年度	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
基本設計	→					
実施設計				→		
建築工事					→	→
敷地造成 (区画整理事業)	→	→	→	→		

事業の概要																													
戦略	2	活動拠点の充実	予算	424,384千円	前年度 953,752千円																								
事務事業	2-2	コミュニティ推進事業	予算	90,603千円	前年度 50,033千円																								
内容																													
2-2_コミュニティの推進																													
<p>住民主体によるコミュニティ活動を支援するため、その活動拠点となる集会施設の整備や集会施設を管理する自治会、住民自治協議会、住民組織等に対して、整備に関連する補助等を行うことにより、地域におけるコミュニティづくりを推進する。</p> <p>① 市有集会施設等の整備及び維持管理（69,490千円（前年度8,263千円）） 政策的に市が設立し、継続して保有する集会所の改修及び施設の修繕、維持管理等を行う。</p> <p>【令和8年度事業（主なもの）】 ○原西部集会所改修工事(65,000千円)</p>																													
																													
原西部集会所																													
<p>② 集会施設整備費の補助（10,846千円（前年度31,507千円））</p> <p>ア 住民組織自らが行う集会施設の整備（新築・改築・修繕等）に対する補助金交付</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築</td> <td>0</td> <td>1/2</td> <td>650万円</td> </tr> <tr> <td>改築</td> <td>4</td> <td>1/2</td> <td>650万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>13</td> <td>1/2</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td>備品購入</td> <td>1</td> <td>所要額</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>						補助対象	件数	補助率	限度額	新築	0	1/2	650万円	改築	4	1/2	650万円	修繕	13	1/2	50万円	備品購入	1	所要額	なし				
補助対象	件数	補助率	限度額																										
新築	0	1/2	650万円																										
改築	4	1/2	650万円																										
修繕	13	1/2	50万円																										
備品購入	1	所要額	なし																										
<p>イ 集会施設の適正配置を進めるための譲渡集会施設の整備（改築・修繕等）に対する補助金交付</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>1</td> <td>3/4</td> <td>650万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>2</td> <td>10/10</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>下水道接続</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>登記</td> <td>1</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> </tbody> </table>						補助対象	件数	補助率	限度額	改築	1	3/4	650万円	修繕	2	10/10	100万円	解体	0	10/10	全額	下水道接続	0	10/10	全額	登記	1	10/10	全額
補助対象	件数	補助率	限度額																										
改築	1	3/4	650万円																										
修繕	2	10/10	100万円																										
解体	0	10/10	全額																										
下水道接続	0	10/10	全額																										
登記	1	10/10	全額																										

事業の概要

- ③ 一般コミュニティ助成事業（10,000千円（前年度10,000千円））
（財）自治総合センターが宝くじの普及・広報の一環として実施している一般コミュニティ助成事業を活用して、住民自治協議会に対し、地域のイベントや日常の活動に必要な資器材・備品等の購入費を助成する。
上限2,500千円（助成率10/10）×4団体
- ④ 地縁団体の設立支援及び認可（0千円（前年度0千円））
集会所等の不動産を所有することとなる自治会等に対し、地縁団体の設立支援及び申請に基づく地縁団体の認可を行う。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進	
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	89.1%	89.1%	90.0%
	国際交流活動参加者(市が関係するもの)の満足度の割合	—	—	80.0%
	国際交流ボランティアの登録者数	590人	590人	650人
	国際化推進協議会の会員数	31団体	31団体	37団体

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 言語・文化の違いによらない円滑な暮らしの実現	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生社会の実現	現状	外国人:必要な情報を入手できない等により、生活に困り事がある人がいる 日本人:外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
情報提供の充実や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援		外国人市民の生活環境の充実	中	1
地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場の不足		外国人も共に活躍できる環境づくり	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 市多言語ホームページへのアクセス数	320,000 (R6)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	330,000	340,000	350,000	380,000 (R12)	件
(4)	()					()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R7年度			36,138			
			9,898			
R8年度			37,526			
			12,436			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	2・1・7 外国人市民受入体制等整備事業	市民生活課	1.23	26,179	26,339
1-2	2・1・7 コミュニケーション支援事業	市民生活課	0.30	6,348	7,335
1-3	2・1・7 国際化推進プラン推進事業	市民生活課	0.30	153	153
2-1	2・1・7 外国人市民地域参画促進事業	市民生活課	0.30	3,458	3,699
合計			2.13	36,138	37,526

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析

9 取組の分析

区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価

総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	① 言語・文化の違いによらない円滑な暮らしの実現

事業の概要				
戦略	1 外国人市民の生活環境の充実	予算	33,827千円	前年度 32,680千円
事務事業	1-1 外国人市民受入体制等整備事業	予算	26,339千円	前年度 26,179千円

内容

1-1_外国人市民の受入体制等の整備

外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らすことができるようにするために、受入体制等を整える。

① 相談体制の充実（15,906千円（前年度15,130千円））

ア 外国人コミュニケーションコーナーの運営（うち15,681千円）

コミュニケーションコーナーを開設し、多言語で生活相談に応じるほか、生活支援やイベント等各種情報を提供する。

(ア) 多言語による相談窓口の開設（英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語）

相談時間	半日 ×回数	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
英語	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
中国語	1													○	
ポルトガル語	2					○						○			
ベトナム語	1														○

(イ) 海外の情報誌や書籍を閲覧できる情報コーナーの開設

(ウ) 対象者の特性に応じたツールを活用した情報発信

多言語メール配信、Facebook、LINE、WeChat



(コミュニケーションコーナー)



(多言語による相談窓口)

イ 多言語による無料法律相談の実施（うち225千円）

広島弁護士会の協力のもと多言語による無料法律相談を行う。

【活動指標】

実施回数：12回（1回あたり3人×45分）

※R6 実績5回 R7 実績6回（見込）

事業の概要

② 情報提供の充実 (9,473 千円 (前年度 10,089 千円))

ア 生活オリエンテーションの実施 (うち 705 千円)

新規転入の外国人へ必要な各種行政サービスや生活習慣、ルール等を説明するオリエンテーションを実施し、円滑な生活のスタートを支援する。

(ア) 転入手続き等来庁時のオリエンテーション (庁内窓口で随時実施)

(イ) 留学シーズンにおける大学等への出張オリエンテーション (随時実施)

(ウ) 事業所等へのアウトリーチ型オリエンテーション (随時実施)

イ 相談機能の充実・行政資料等の多言語化の推進 (うち 8,768 千円)

行政国際化推進員の配置 (通年 1 名)

(ア) 窓口通訳

(イ) 行政資料等の多言語化支援

(ウ) 市多言語ホームページの充実に取組む

【活動指標】

市多言語ホームページへのアクセス数 : 340,000 件

※R6:341,076 件 R7:282,770 件 (見込)

ウ 各種行政窓口等における多言語対応の充実

自動翻訳タブレット等の配備により多言語対応の充実にを図る。(15 台配備)

(iPad 配備所属) 管財課、市民税課、地域共生推進課、こども家庭課、保育課、青少年育成課、産業振興課、学事課、市民生活課 (5)

(ポケトーク配備所属) 市民課 (2)



(大学での生活オリエンテーション)



(事業所でのオリエンテーション)

③ 多様な人材の活躍支援 (960 千円 (前年度 960 千円))



ア 私費留学生等への支援

市内に在住する私費留学生等に対し、奨学金の経済的支援を行う。


【活動指標】

奨学金 : 4 名 (1 人あたり 20 千円/月×12 ヶ月)

※R6 実績 4 名 R7 実績 4 名

事業の概要					
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算	33,827千円	前年度 32,680千円
事務事業	1-2	コミュニケーション支援事業	予算	7,335千円	前年度 6,348千円
内容					
1-2_コミュニケーション支援					
① 日本語教室等の開催 (6,790千円 (前年度 6,318千円))					
多文化共生コーディネーター (1名) を配置し、レベルに応じた多様な日本語教室を開催する。					
ア にほんごきょうしつ東広島Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各週2回)、Ⅳ (週1回) (うち 4,673千円)					
日本語講師がレベルに応じて授業を実施する教室型の日本語教室を実施する。					
イ にほんごわいわい (週1回・西条2クラス、八本松・黒瀬・安芸津各1クラス) (うち 856千円)					
ボランティアとのグループでの会話をとおして日本語習得を支援する交流型の日本語教室を実施する。					
ウ One-to-Oneにほんご (随時)					
ボランティアと外国人市民が1対1で日本語での会話をとおして、外国人の日本語習熟度を高めるとともに、相互の国際理解を深める。					
エ にほんごひろばU-18 (小学生向け週2回、中高生向け週2回) (うち 1,261千円)					
外国人児童生徒を対象に、コーディネーターとボランティアが日本語学習や教科学習の支援及び居場所づくりに取り組む。					
					
(にほんごきょうしつ東広島)			(にほんごわいわい)		
② 「やさしい日本語」の普及促進 (545千円 (前年度 30千円))					
ア 「やさしい日本語」講座の実施					
地域、企業・団体、市職員を対象に「やさしい日本語」講座を実施する。					
【活動指標】					
実施回数 12回					
※R6 実績 9回 R7 実績 8回 (見込)					

事業の概要					
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算	33,827 千円	前年度 32,680 千円
事務事業	1-3	国際化推進プラン推進事業	予算	153 千円	前年度 153 千円
内容					
1-3_国際化推進プランの推進					
<p>審議会を開催し、第4次国際化推進プランの取組みに対する実施状況の検証等を行う。</p> <p>① 国際化推進プラン審議会の開催（153 千円（前年度 153 千円））</p>					

事業の概要					
戦略	2	外国人も共に活躍できる環境づくり	予算	3,699 千円	前年度 3,458 千円
事務事業	2-1	外国人市民地域参画促進事業	予算	3,699 千円	前年度 3,458 千円
内容					
2-1_外国人市民の地域参画の促進					
<p>外国人市民が地域とつながることにより、安心して生活し、地域社会で活躍できるよう啓発を行う。</p> <p>① 地域活動への参加促進（3,398 千円（前年度 3,246 千円））</p> <p>ア 多文化共生コーディネーターの配置（うち 3,398 千円） 外国人市民の地域活動への参加を促進するため、多文化共生コーディネーター1名を配置し、地域の国際交流を支援する。</p> <p>イ JICA 国際協力推進員の配置（週1回） JICA 国際協力推進員1名を配置し、JICA と共に多文化共生に係るイベント企画等を実施し、地域の連携強化及び外国人市民の地域活動への参加を促進する。</p> <p>② 市民への意識啓発（301 千円（前年度 212 千円））</p> <p>ア 地域における多文化共生の取組み紹介 地域で多文化共生に取り組む住民自治協議会等の取組みを市ホームページで紹介する。</p> <p>イ 外国人市民向け防災啓発講座の実施（うち 301 千円） 市内在住の外国人市民に対し、防災に関する講座等を開催し、キーパーソンの育成とともに同国コミュニティ内や地域内での防災知識の普及を促進する。</p> <p>【活動指標】 実施回数 3 回 ※R7 実績 2 回</p>					
					
(外国人防災キーパーソン育成講座)					

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進	
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。			
施策の数値目標	指標	初期値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R12年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	89.1%	89.1%	90.0%
	国際交流活動参加者(市が関係するもの)の満足度の割合	—	—	80.0%
	国際交流ボランティアの登録者数	590人	590人	650人
	国際化推進協議会の会員数	31団体	31団体	37団体

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 国際交流と相互理解の促進	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 事業群の目指す姿と戦略

事業群の目指す姿	友好都市・親善都市等との都市間交流や、地域に暮らす日本人・外国人市民の交流機会の創出により、市民の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る	現状	外国人:交流したいと思っているが交流できていない人がいる、地域住民との交流がなく地域に溶け込めていない人がいる 日本人:外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題	誰かが参加しやすい交流機会が少なく異文化理解が十分でない 交流を支える団体間のつながりが十分でない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		交流による異文化理解の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R7	R8	R9		
(7) 国際交流活動参加者(市が関係するもの)の満足度の割合	0 (R6)	上段: 目標値 中段: 実績値 下段: 達成率	75.0	76.0	77.0	80.0 (R12)	%
(4) 国際交流ボランティアの登録者数	590 (R6)		600	610	620	650 (R12)	人
(9) 国際化推進協議会の会員数	31 (R6)		32	33	34	37 (R12)	団体

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	7年度		9,608			
	7年度		4,056			
	8年度		8,424			
	8年度		2,079			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R7 当初予算額	R8 当初予算額
				R7 決算額	R8 決算額
1-1	2・1・7 国際交流推進事業	市民生活課	0.80	8,268	8,388
1-2	2・1・7 都市間交流推進事業	市民生活課	0.20	1,340	36
合計			1.00	9,608	8,424

7 R8事業員の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。	
差額	分析

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)	
平均達成率	分析

9 取組の分析		
区分	分析視点	分析内容
妥当性	・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か	決算時記載
有効性	・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い	
効率性	・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等)	
外的 要因	・外的な要因による影響は あったのか。	

10 総合評価	
総合評価	<総評>

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針
→	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	② 国際交流と相互理解の促進

事業の概要					
戦略	1 交流による異文化理解の促進	予算	8,424 千円	前年度	9,608 千円
事務事業	1-1 国際交流推進事業	予算	8,388 千円	前年度	8,268 千円

内容

1-1_国際交流の推進

外国人市民と日本人市民が相互理解のもと、共に市民として暮らす多文化共生のまちづくりを実現するために、多様な市民の交流を推進し、国際感覚の醸成と相互理解を深める。

① 交流機会の創出と活動の支援 (7,836 千円 (前年度 7,375 千円))

ア 誰もが参加しやすい交流機会の創出 (うち 7,286 千円)

(7) 国際化推進協議会による交流事業 (東広島国際フェスタ等)

交流団体、学生、企業等様々な個人・団体と連携し、誰もが参加しやすい国際交流イベント等を開催する。また、多様な交流団体や個人が連携することで、相互協力の体制づくりやネットワークの充実を図り、国際交流活動の活性化に繋げる。

(イ) H I C と連携した多文化共生事業 (子ども英語村、東広島バスツアー、子育て交流会等)

外国人市民、日本人市民の交流機会の提供を行うことにより、地域の国際化や多文化共生を推進する。

※H I C = (公財) ひろしま国際センター

イ 新たなつながり作りのための交流機会の創出 (うち 550 千円)

広島大学の国際交流拠点施設「ミライクリエ」を活用し、定期的に交流の場を設け、外国人市民の国別コミュニティの形成や防災知識の啓発を通じ、市民との交流を促進する。

【活動指標】

実施回数 4 回

※R6 実績 4 回 R7 実績 4 回 (見込)

ウ 交流団体が実施する事業の情報発信等の支援

広報紙や国際化推進協議会の HP 等を活用し、随時、情報を発信する。



(東広島国際フェスタ)



(子育て交流会)

事業の概要

② 意識啓発、異文化理解の促進（382 千円（前年度 745 千円））

ア 外国人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 200 千円）

(7) H I C と連携した交流事業（日本伝統文化講座等）

外国人市民を対象に日本文化紹介・体験の交流会を行い、異文化理解を促進する。

(1) 多文化共生ワークショップの開催

テーマを設け、外国人市民から見た東広島市の印象や行政に対する意見をヒアリングするワークショップを開催する。

【活動指標】

実施回数 1 回

※R7 実績 1 回（見込）

イ 日本人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 122 千円）

(7) 徳陽市紹介事業

パネル展示等により、友好都市である中国徳陽市の紹介を行う。

(1) マリリア市紹介事業

パネル展示等により、親善都市であるブラジルマリリア市の紹介を行う。

ウ 国際協力研修事業への協力による国際理解の促進（うち 60 千円）

(7) JICA「排水処理技術コース」への協力による国際理解の促進

(1) JICA 中国が実施する各種研修コースへの協力

【活動指標】

協力数 5 コース程度/年

※R6 実績 6 コース R7 実績 3 コース（見込）

③ 交流を支える団体への支援及び人材の育成（170 千円（前年度 148 千円））

ア 国際交流関係団体への支援（うち 90 千円）

イ 国際交流ボランティア登録促進及び研修会実施（うち 80 千円）

【活動指標】

実施回数 3 回

※R6 実績 3 回 R7 実績 3 回（見込）

団体名
東広島市国際化推進協議会
東広島市日中親善協会
広島ベトナム平和友好協会
広島アセアン協会
広島日伯協会
広島グアナファト協会

（主な国際交流関係団体）



（国際交流ボランティア研修会）

事業の概要					
戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	8,424 千円	前年度 9,608 千円
事務事業	1-2	都市間交流推進事業	予算	36 千円	前年度 1,340 千円
内容					
1-2_都市間交流の推進					
① 海外等来客者との交流（36 千円）					
海外等来客者を受入れ交流することで、本市の国際化や国を超えた関係づくりを推進する。					
※（参考）友好都市及び親善都市との交流（0 千円（前年度 1,340 千円））					
メールやインターネット等を通じて情報交換等を行う。また、イベント開催等にあたりメッセージを送付する。					
ア 中国徳陽市					
友好都市提携日	1993 年（平成 5 年）10 月 14 日				
近年の交流状況	<p>■東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年（平成 30 年）10 月 30 日～11 月 2 日 定期訪問団（6 名）を徳陽市へ派遣 <p>■徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025 年（令和 7 年）4 月 28 日～4 月 29 日 定期訪問団（4 名）が東広島市を来訪 <p>□次回予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2028 年（令和 10 年）の友好都市提携 35 周年に定期訪問団を徳陽市へ派遣予定 <p>※定期訪問団については、友好提携年（1993 年）を基準とし、互いに 5 年毎に派遣</p>				
イ ブラジルマリリア市					
親善都市提携日	1980 年（昭和 55 年）11 月 29 日				
近年の交流状況	<p>■マリリア市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年（平成 30 年）11 月 14 日～11 月 16 日 訪問団（3 名）が東広島市を来訪 <p>■マリリア市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025 年（令和 7 年）9 月 14 日～9 月 16 日 訪問団（4 名）が東広島市を来訪 <p>□次回予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2028 年（令和 10 年）のマリリア市設立 100 周年に訪問団をマリリア市へ派遣予定 				

令和8年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

2 暮らしづくり

内容

<総務部（DX推進担当）>

(1) 地域情報化の推進（170,474千円（前年度149,319千円））【2款1項8目】

① 情報通信基盤の運営（うち164,137千円）

ア 高速インターネットサービスの提供

市が整備・所有する情報通信基盤（光ファイバーケーブル網）を用いて公設民営方式により提供するインターネット接続サービス又はケーブルテレビ視聴サービスについて、サービス利用契約者に対してサービスが利用できる環境を提供する。

イ 情報通信基盤の保守等

情報通信基盤の修繕、支障移転などの保守・維持管理を行う。

② 公衆無線LANの運営（うち6,337千円）

ア 東広島フリーWi-Fiの運営

東広島フリーWi-Fiを運営し、施設利用者が手軽にインターネットを利用できる環境を確保する。

<地域振興部>

(1) 地域センター等の管理運営

（301,161千円（前年度315,433千円））【2款1項9目】

① 地域センター及び地区拠点施設の維持管理（うち114,883千円）

市内37地域センター及び11地区拠点施設の維持管理を行う。

② 地域センター職員の配置（うち28,255千円）

地域センターの管理運営、住民自治協議会事務の補助及び生涯学習活動を行う職員（センター長、事務補助員）を配置する。

③ 地域センターの指定管理（うち158,023千円）

地域センターでの活動をより活発なものとするため、地域の状況に応じた運営ができるよう地域センターに指定管理者制度を導入する。

<生活環境部>

(1) 生業資金等債権の管理（3,838千円（前年度414千円））【3款1項6目】

① 債権の回収・管理（うち230千円）

生業資金等貸付金の債務者（連帯保証人、相続人含む）に対して、電話等での納付指導を行うとともに、訪問や口座振替等による債権回収及び債権管理を行う。

【新】② 生業資金等収納員の配置（うち3,608千円）

債権の整理を計画的・集中的に進めるため、専門の職員を配置する。

(2) 人権センターの管理運営

内容

(46,815 千円 (前年度 44,225 千円))【3 款 1 項 6 目】

- ① 人権センターの管理運営 (うち 44,662 千円)
市民の福祉向上や人権啓発推進の拠点となる市内 4 か所の人権センターの維持管理を行う。
- ② 交流促進講座等の開催 (うち 2,153 千円)
市民相互の交流によって本市に生きることが誇りに持てる地域社会づくりに資するため、地域ニーズに即した各種教養・文化活動の講座等を開催する。

(3) 衛生施設浸水等の対応 (561 千円 (前年度 556 千円))【4 款 1 項 1 目】

- ① 衛生施設浸水への見舞金 (うち 125 千円)
豪雨等の自然災害により、家屋において床上浸水又は床下浸水の被害を受けた世帯に対し、市民の福祉と生活の安定に資するため、浸水見舞金を交付する。
- ② 衛生施設流入土砂等の撤去 (うち 436 千円)
災害救助法適用時において、災害により衛生施設に土砂等が流入した世帯に対し、衛生施設の早期復旧と生活の安定に資するため、流入した土砂等の撤去を行う。

(4) 斎場の適切な管理運営

(134,925 千円 (前年度 204,454 千円))【4 款 1 項 4 目】

- ① 斎場 (5 か所) の管理運営、火葬業務
斎場 5 か所 (ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場) の維持管理等を行う。
 - ・ひがしひろしま聖苑火葬炉設備修繕 3,630 千円
 - ・河内斎場火葬炉設備修繕 4,697 千円 等

(5) 市営墓地 (ひがしひろしま墓園を除く) の貸付、維持管理

(2,620 千円 (前年度 1,293 千円))【4 款 1 項 4 目】

- ① 市営墓地 (5 か所) の管理運営
ひがしひろしま墓園を除く旧町から引き継いだ墓園 5 か所 (金口墓園、陰地墓園、中屋谷第 1 墓園、中屋谷第 2 墓園、下河内墓園) の維持管理等を行う。

(6) 特定地域生活排水処理事業特別会計への繰出金

(3,727 千円 (前年度 3,501 千円))【4 款 1 項 4 目】

- ① 特定地域生活排水処理施設の管理運営費への繰出金
市 (旧河内町) が設置した小型浄化槽を適切に維持管理するため、使用料収入では賄えない部分に対し、一般会計から繰出しを行う。

(7) 生活衛生事業の推進 (257 千円 (前年度 731 千円))【4 款 1 項 4 目】

内容

① 生活衛生関係に関する事務

墓地、専用水道や簡易専用水道、化製場等に関する手続き等の事務を行うとともに、各施設への立入監視指導や報告聴取によって、適切な衛生管理が行われるよう指導を行う。

対象事務	登録数
水道法関係等（専用水道、簡易専用水道、小規模水道施設、小規模貯水槽水道数）	828
墓地、埋葬等に関する法律関係（墓地経営許可数）	8,464
化製場等に関する法律関係（化製場、死亡獣畜取扱場、動物飼養収容施設数）	3

（令和7年12月31日時点）

(8) 広島県水道広域連合企業団への負担金

（869,771千円（前年度768,837千円））【4款1項4目】

① 広島県水道広域連合企業団への負担金

本市及び広島県等、1県9市5町が水道事業等を共同で経営することを目的に設立した、広島県水道広域連合企業団の東広島事務所に対し、繰出基準等に基づき負担する。

(9) 清掃管理（671千円（前年度672千円））【4款2項1目】

廃棄物の処理及び清掃に係る許認可等事務、関係機関等との連絡調整等を行う。

(10) 広島中央環境衛生組合への負担金

（2,893,592千円（前年度2,690,022千円））【4款2項1目】

① 広島中央環境衛生組合の運営等経費への負担金

本市、竹原市及び大崎上島町の2市1町が一般廃棄物の広域処理を行うために設置した、広島中央環境衛生組合の運営費等を負担する。

(11) ひがしひろしま墓園の貸付、維持管理

（9,302千円（前年度11,015千円））【1款1項1目】

（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計）

① ひがしひろしま墓園の管理運営

ひがしひろしま墓園の維持管理等を行う。

<建設部>

(1) 地籍調査の推進（27,178千円（前年度12,378千円））【6款1項5目】

国土調査法等の関係法令に基づき、豊栄町及び安芸津町で地籍調査を行う。

- ・豊栄町安宿地区地籍調査事業（1.23km²）
- ・安芸津町木谷地区地籍調査事業（0.12km²）

内容

(2) 土木に関する総合的な管理

(51,730千円(前年度45,618千円))【8款1項1目】

- ① 建設DXの推進(うち4,348千円)
 - ア ICT利活用に向けた人材育成
 - イ ICT機器の使用料や講習会費
- ② その他経費(うち47,382千円)
会計年度任用職員の任用等に係る経費

(3) 土木施設等の管理(100,906千円(前年度72,648千円))【8款2項1目】

- ① 駅前広場等施設の維持管理(うち42,740千円)
西条駅等の自由通路及び駅前広場(11か所)、公衆トイレ(7か所)、及び吉行横断地下道の維持管理を行う。
 - ② 駅前広場等施設の修繕(うち7,838千円)
西条駅等の自由通路及び駅前広場等を適切に維持するために必要な修繕を行う。
 - ③ 道路・河川管理に係るデータ更新業務(うち16,500千円)
道路河川の入力データ作成、認定道路の台帳整理及び更新を行う。
 - ④ 道路河川維持作業(うち7,770千円)
 - ア 道路賠償責任保険
 - イ 道路維持管理システム
 - ⑤ その他経費(うち26,058千円)
- 【新】ア 特殊車両通行許可審査に係る道路情報の電子化
イ その他公共土木施設の管理等に係る経費

※「駐車場管理運営事業」は分野別基盤事業 2 暮らしづくり<都市交通部>へ移管

(4) 電源立地地域の対策(4,953千円(前年度4,950千円))【8款2項2目】

棕梨川水力発電所設置による減水区間地域の環境激変緩和対策を行う。

- ① 道路修繕に係る工事(うち4,922千円)
7の組10の組線の道路舗装修繕工事を行う。
- ② その他経費(うち31千円)
広島県地域振興対策協議会会費等

(5) 市営住宅等の管理・運営

(141,364千円(前年度108,607千円))【8款6項1目】

※ 分野別基盤事業 2 暮らしづくり<都市部>から移管

- ① 施設の維持管理(うち78,949千円)
指定管理者制度等を活用し、市営住宅の維持管理を行う。
- ② 市営住宅に係る経常経費(うち16,985千円)
市営住宅の土地賃借料及び光熱水費等

内容

- ③ 住宅使用料等の滞納整理（うち 2,856 千円）
滞納家賃の督促及び臨戸訪問等により滞納整理を行う。
- ④ 入居者情報管理（うち 830 千円）
住宅システムの保守等に係る経費
- ⑤ 市営住宅の修繕（うち 3,847 千円）
市営住宅の家屋等小修繕料
- ⑥ 市営住宅からの移転補償金（うち 3,421 千円）
老朽化した市営住宅からの移転補償金
- ⑦ 住宅管理システムの更新（うち 31,836 千円）
既設住宅管理システムの保守管理が終了することに伴い、住宅管理システムを更新する。
- ⑧ その他事務（うち 2,640 千円）
市営住宅管理の必要経費（消耗品費、役務費等）

<都市交通部>

(1) 開発指導事務の適正かつ効率的な実施

(3,365 千円（前年度 2,815 千円）)【8 款 5 項 1 目】

- ① 都市計画法に基づく許可・検査及び指導事務
- ② 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく許可・検査及び指導事務
- ③ 国土利用計画法及び公有地の拡大の推進に関する法律の処理事務

(2) 安全・安心な憩いの場となる公園の維持

(614,304 千円（前年度 629,447 千円）)【8 款 5 項 4 目】

安全・安心な憩いの場となる公園を維持するため、施設の管理や修繕および更新を行う。

- ① 東広島運動公園、憩いの森公園の指定管理（うち 250,364 千円）
- ② 樹木育成管理（うち 110,450 千円）
- ③ 清掃等管理（うち 174,790 千円）
- ④ 施設の修繕・更新（うち 78,700 千円）

※「市営住宅等の管理・運営」は分野別基盤事業 2 暮らしづくり<建設部>へ移管

(3) 建築指導事務の適正かつ効率的な実施

(11,808 千円（前年度 11,121 千円）)【8 款 1 項 2 目】

- ① 建築基準法に基づく審査及び指導事務（うち 7,008 千円）
- ② 民間建築物に係る費用の各種助成（うち 4,800 千円）

※「③狭あい道路整備に係る費用の助成」は②に統合

(4) 駐車場管理運営事業（166,889 千円（前年度 320,276 千円）)【8 款 2 項 1 目】

※ 分野別基盤事業 2 暮らしづくり<建設部>から移管

内容

- ① 施設の管理運営（うち 54,694 千円）
市内の無料自転車駐車場（22 施設）の清掃・管理及び有料自転車駐車場（2 施設）の管理を行う。
- ② 駐車場等の修繕（うち 7,245 千円）
各駐車場の修繕を行う。
- ③ 自転車駐車場敷地の借地料（うち 1,077 千円）
西条、白市各駅前自転車駐車場（3 施設）の借地料。
- ④ 西条駅前第 1 自転車駐車場改修工事（うち 100,023 千円）
西条駅前第 1 自転車駐車場の大規模改修を行う。
- ⑤ 放置自転車等の撤去・保管（うち 3,850 千円）
自転車駐車場内の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行う。

